

令和4年度

社会福祉法人誠和 事業報告

➤ 事業報告概要

令和4年度は、第8期介護保険事業計画の2年度目ということもあり、介護保険改正内容も明確となり、業務も安定し適切な対応に努めてまいりました。感染症や災害における業務継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の策定と実施、LIFE（科学的介護情報システム）、一部職種による人材不足やクラスター対応は業務負担となり、残業時間の大幅な増加となることとなりました。

令和2年3月に岡山県で最初の新型コロナウイルス感染症が発生して丸3年が経過しました。事業実施にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めてきましたが、各事業所で新型コロナウイルス感染症が発生し、他事業所からの応援やクラスター時の感染対策などスタッフの懸命な努力により、利用者の生活の維持に努めてまいりましたが、在宅系では受入の一部中止や入所系では施設療養の継続となりスタッフの心身の負担はかなり大きなものとなりました。令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への見直しにむけた準備にも取り組んでまいりました。

運営面におきましては、感染者の発生に伴い、利用受入の一部中止や医療機関の入退院制限、施設療養などにより影響を受けることとなりましたが、岡山県介護サービス事業所等サービス提供体制確保事業補助金により一部負担軽減になりました。

在宅系のサービス、保育所2園が通年稼働により利用率は向上しましたが、特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓（ユニット型）、ショートステイにおけるクラスターや小規模多機能型事業所の稼働率の低下の影響が大きかったことが全体収入の微増にとどまった要因となりました。

人材不足、人材育成は継続した課題であり、IoT化、多職種連携、外国人採用、そして個別ケアの推進が生産性の向上に繋がるものと考えております。

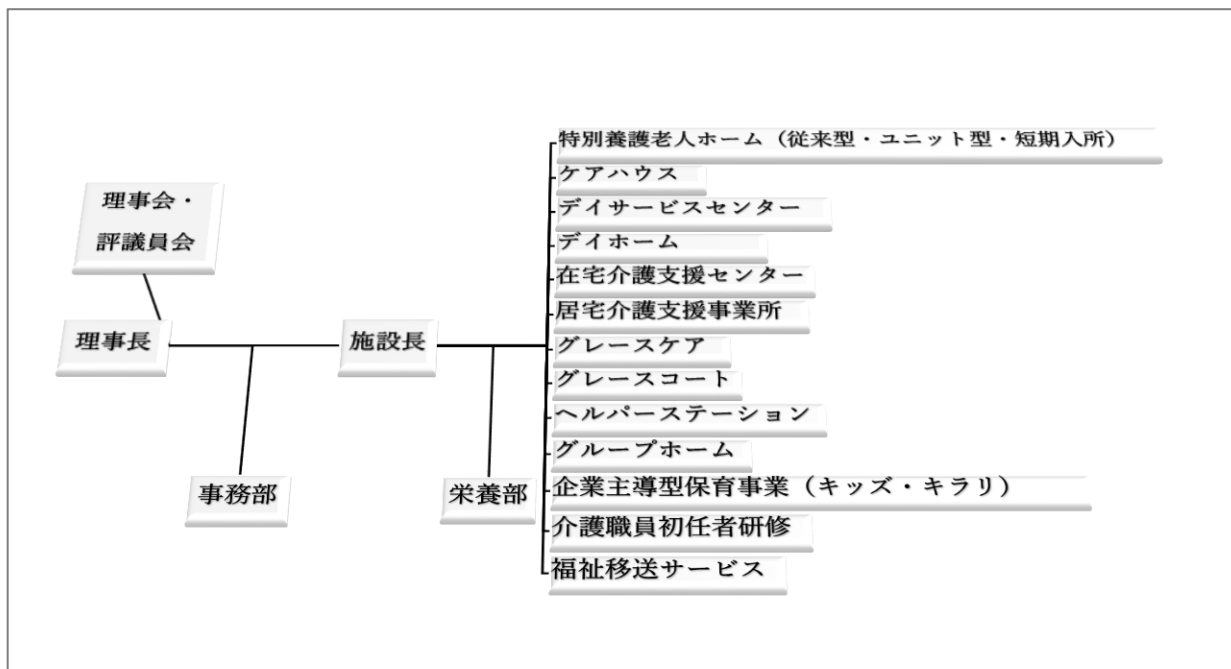
利用者、家族等から選ばれるサービス提供に努め、利用者の自己決定を促し、自己実現に向けたその人らしい生活の支援に努めていくことが引き続き重要であると考えております。

➤ 重点取り組み事項

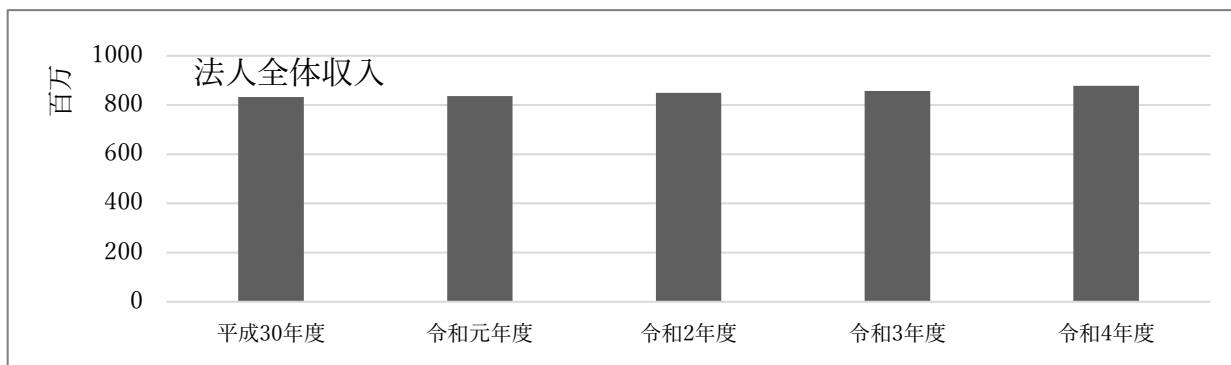
感染対策の徹底とIoT（Internet of Things）の推進により組織全体の生産性の向上と人員不足の解消に努め、職員のやりがいのある環境を整えることとする。そして、利用者、家族等から選ばれるサービス提供に努め、利用者の自己決定を促し、自己実現に向けたその人らしい生活の支援に努めてきました。

- 1) 感染対策を講じたサービス提供の工夫・充実
- 2) ガバナンスの強化に努めながら、加算取得による収益増
- 3) IoT、多職種連携や介護助手の配置、外国人労働者配置による業務プロセスの効率化
- 4) 介護機器や福祉用具を活用し、「抱えない介護」を推進し、腰痛予防等介護負担軽減
- 5) ホームページ等を通じて魅力ある生活環境、職場環境等の情報発信や関係機関担当者との連携の強化
- 6) 企業主導型保育事業の増設に伴い、既存事業所の業務見直しを図り、関係機関との連携と適切な運営

➤ 組織図



➤ 法人全体収入



➤ 事業所別取り組み事項

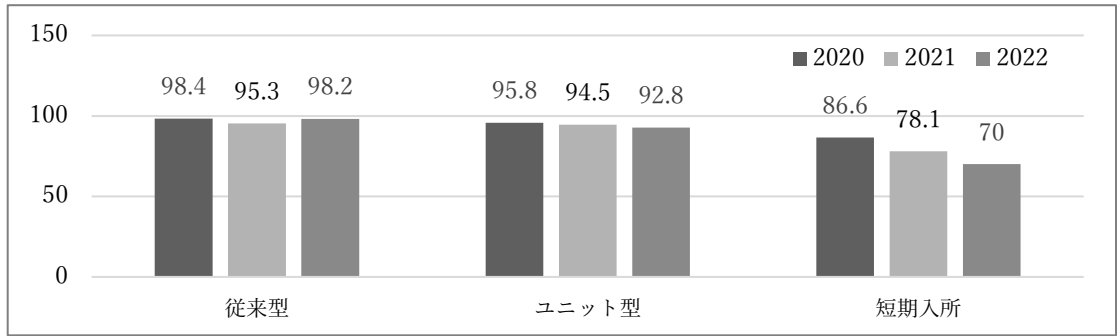
1. 社会福祉事業

① 特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓（従来型・ユニット型・短期入所）

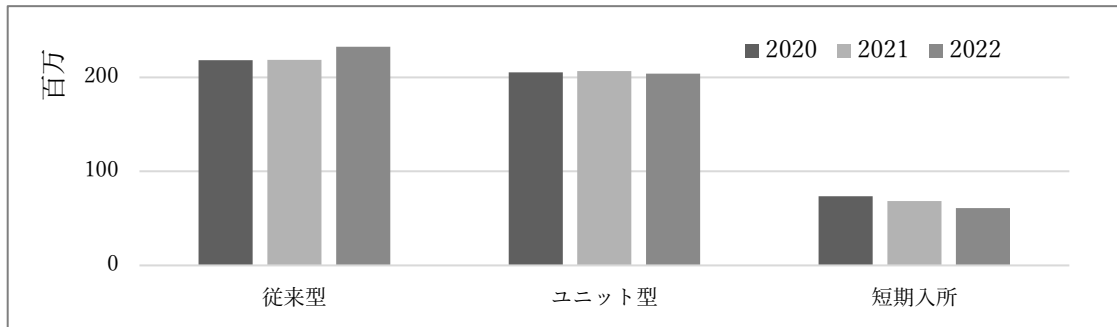
昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響にて、様々な行事等の縮小や家族の面会も制限がかかる中、今まで取り組んできたIoT化によりオンライン面会や会議などに対応してきました。人員不足や感染症対策によるスタッフの負担軽減のため、業務プロセスの効率化、多職種協働、専門職以外（介護助手等）の人材確保にも努めてまいりました。介護助手の充足や多職種連携、外国人採用が、介護職員の人員不足の解消の一助になったと考えております。面会制限の解消のため定期的な家族への電話連絡にて情報提供に努めてきました。

特養全体としては、利用年齢幅が広がり、ユニット型は高齢化が顕著、新型コロナウイルス感染症の影響により、入退所が例年以上に多い年度となりました。新規入所者には、岡山市が保険者であるケース、短期入所では邑久町利用者が増加傾向となっております。利用負担も第3段階②及び第4段階、短期入所利用者の新規が2年前の倍増、一方、待機者は半減となっております。

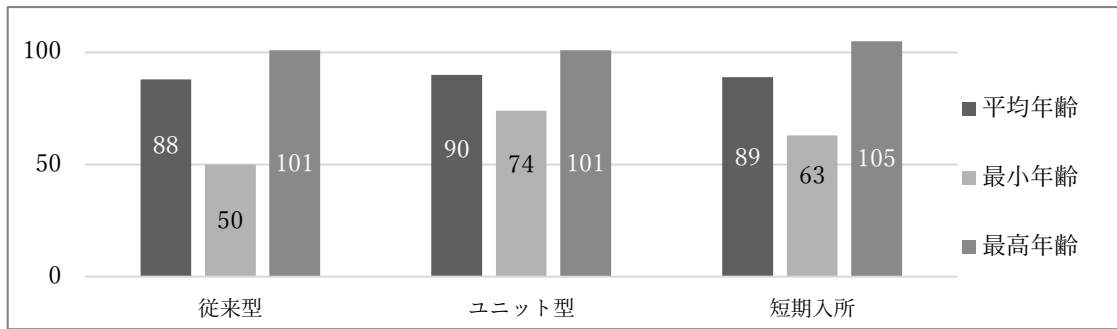
● 稼働率（従来型・ユニット型・短期入所）



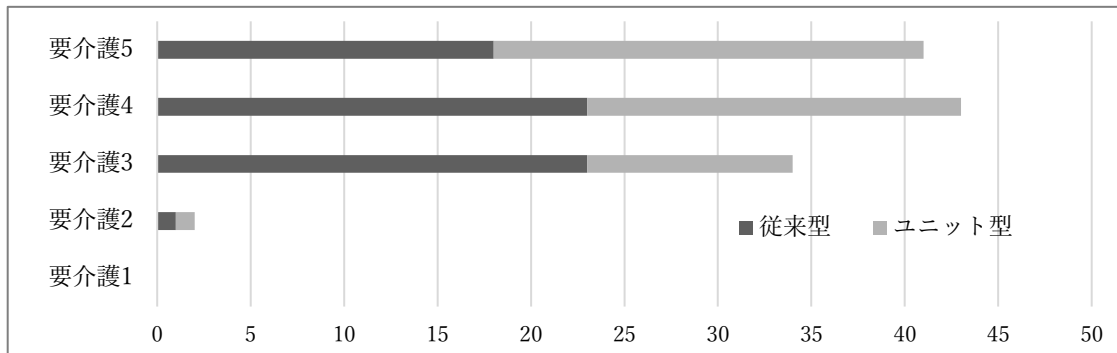
● 収入（従来型・ユニット型・短期入所）



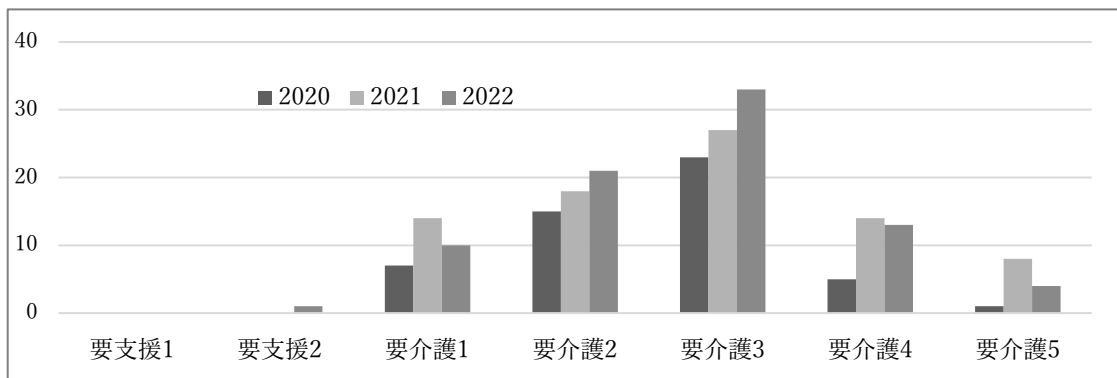
● 年齢（従来型・ユニット型・短期入所）



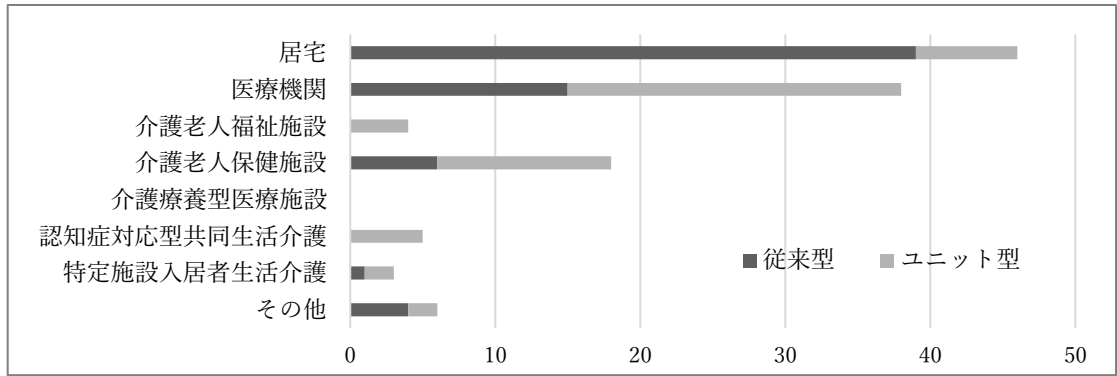
● 介護区分別 利用者数（従来型・ユニット型）



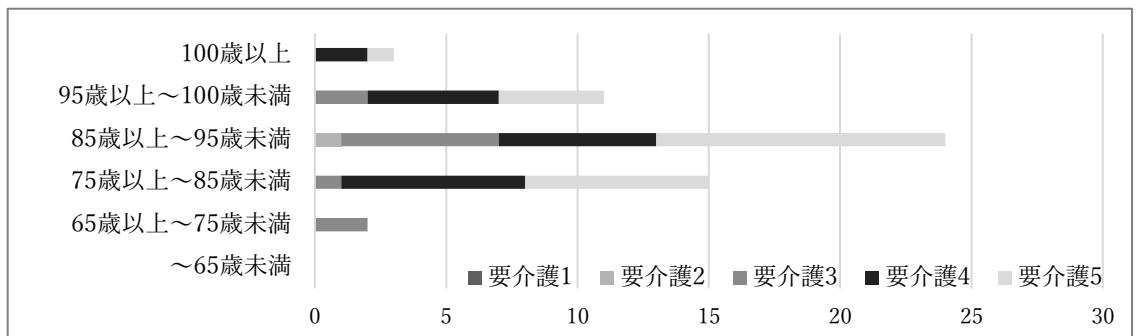
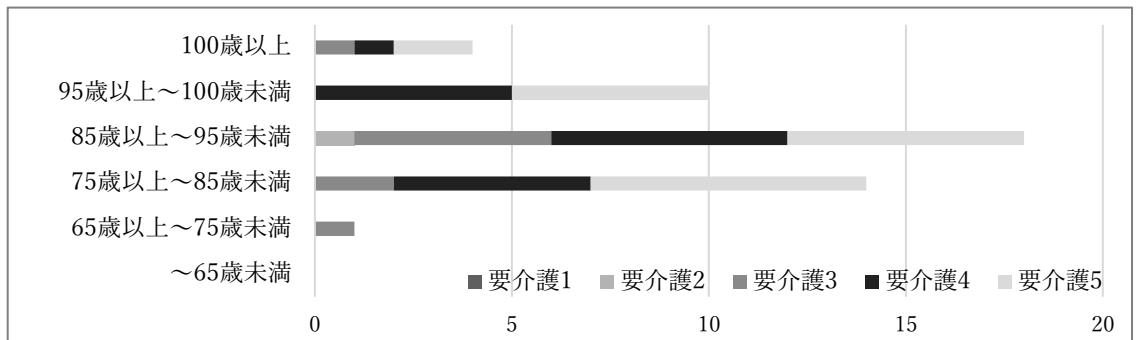
● 介護区分別 利用者数（短期入所）



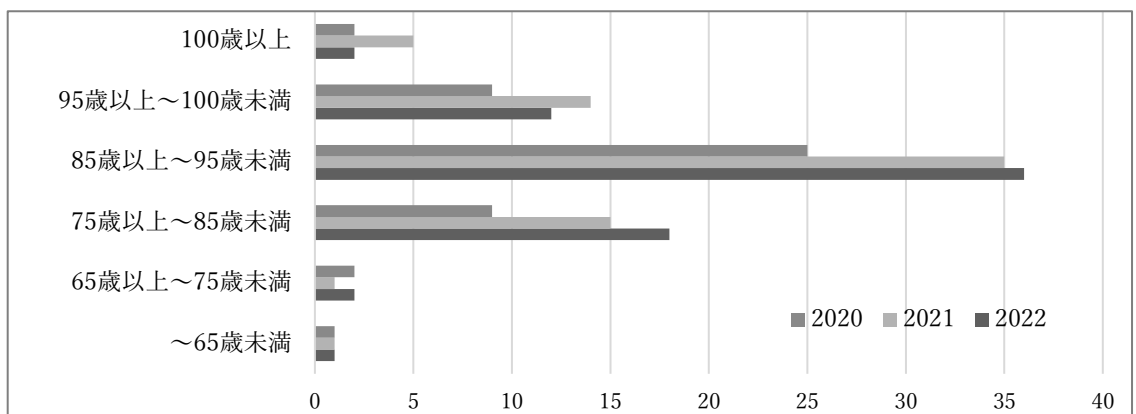
● 新規入所者入所前状況（従来型・ユニット型）



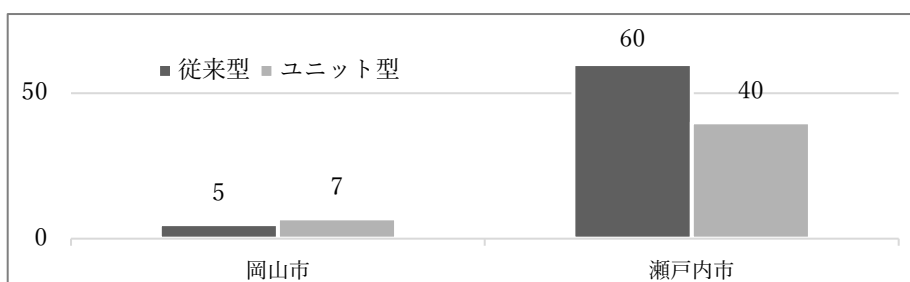
● 年齢別 要介護状態区分別 利用者数（従来型 [上]・ユニット型 [下]）



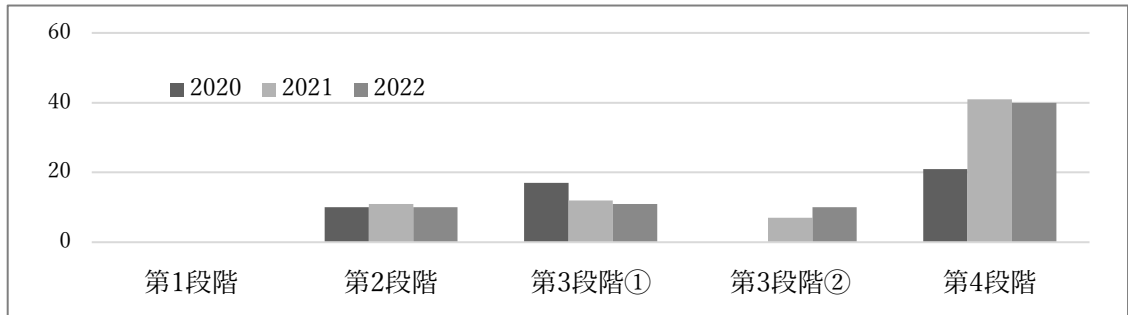
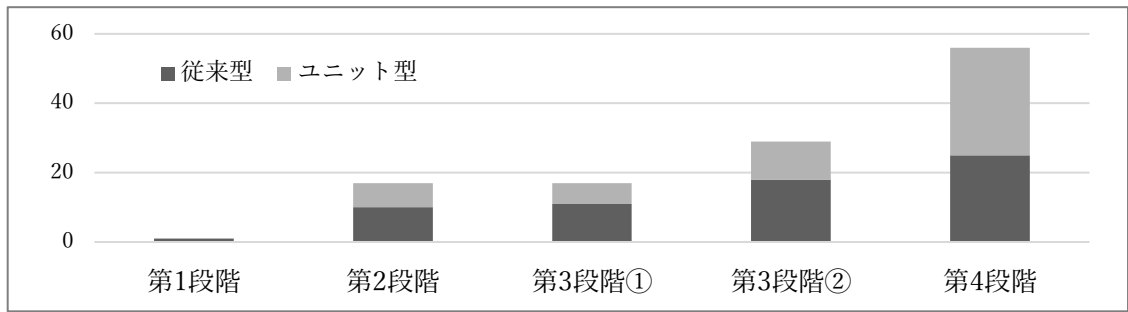
● 年齢別 要介護状態区分別 利用者数（短期入所）



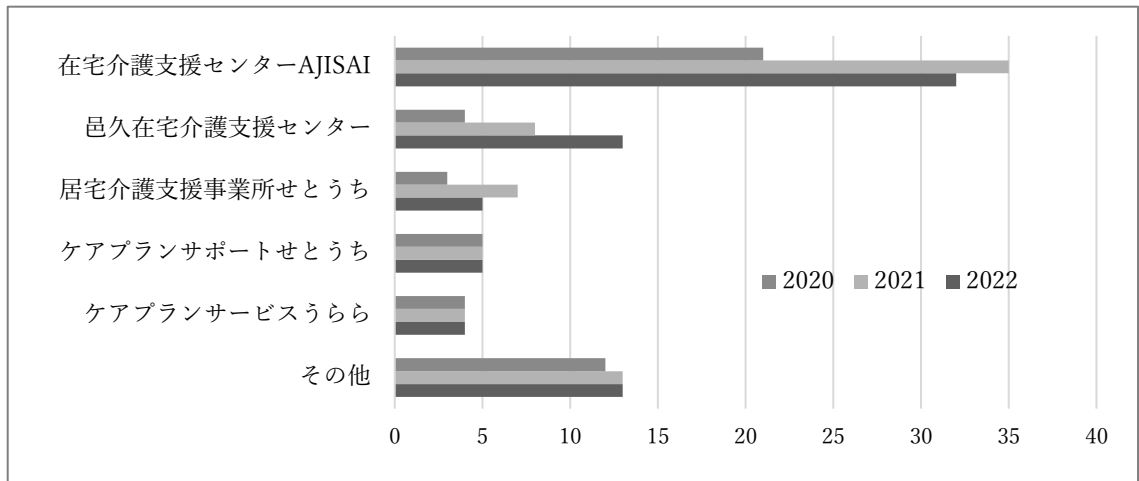
● 入所者保険者内訳（従来型・ユニット型）



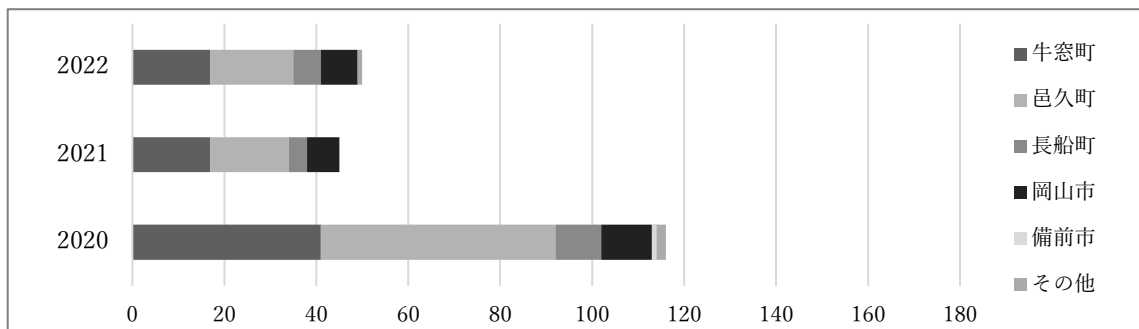
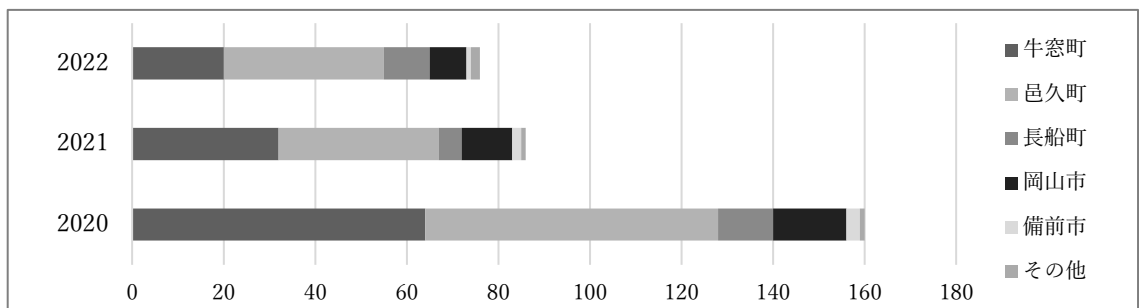
● 負担限度額（従来型・ユニット型 [上] 短期入所 [下]）



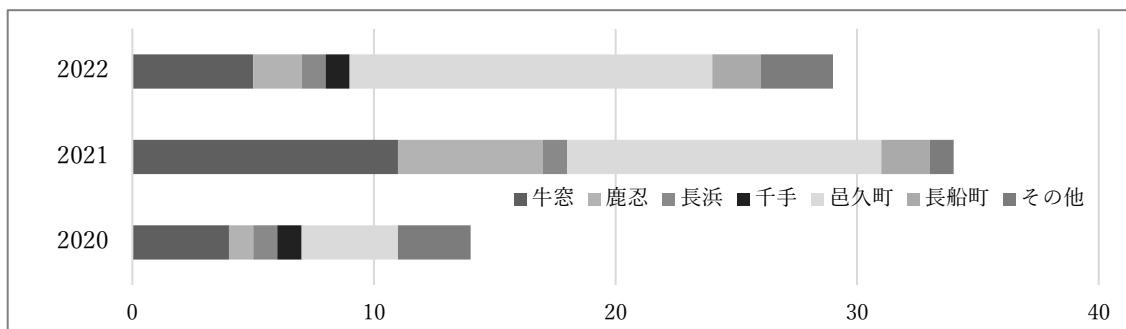
● 居宅介護支援事業所別 利用者数（短期入所）



● 地区別 待機者数（従来型 [上]・ユニット型 [下]）（年度末時点）



● 地区別 新規利用者数（短期入所）

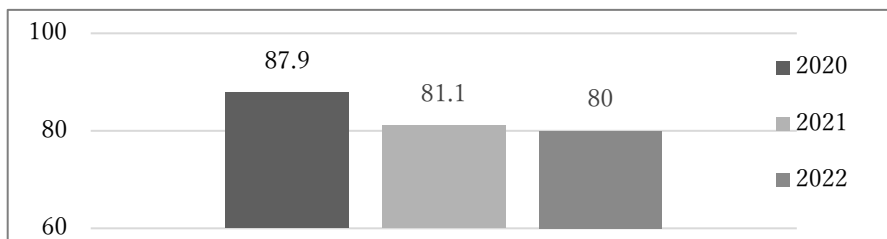


② ケアハウス紫陽花

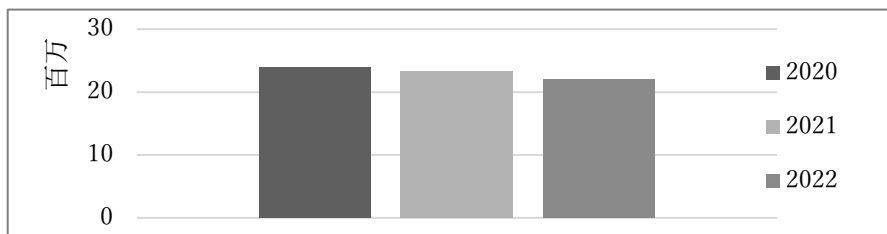
当年度も新型コロナウイルス感染症の影響にて、外出やレクリエーションなどの活動や面会も制限がかかり、サービス提供の変更を余儀なくされてきました。外食の代替としてのTakeOut やレクリエーションの充実に努め、面会制限の解消のため、ホームページでのブログ更新や定期的な家族への情報提供にて情報提供に努めてきました。

全体的に高齢化が進み、85～95歳が大半を占め、入居期間も1年以内の入れ替わりも多く、短縮の傾向となっております。

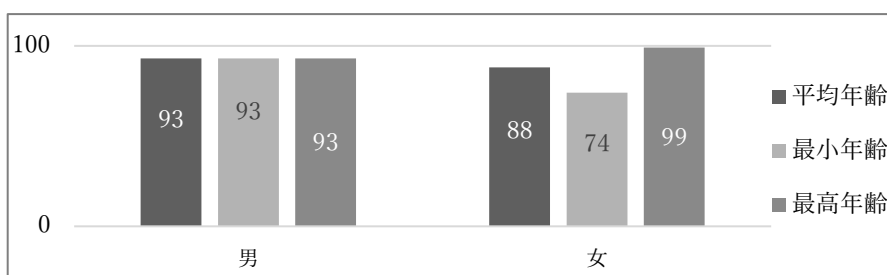
● 稼働率



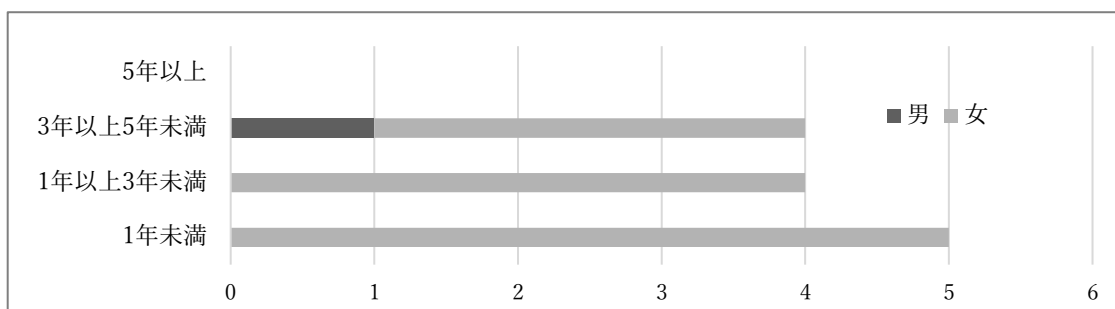
● 収入



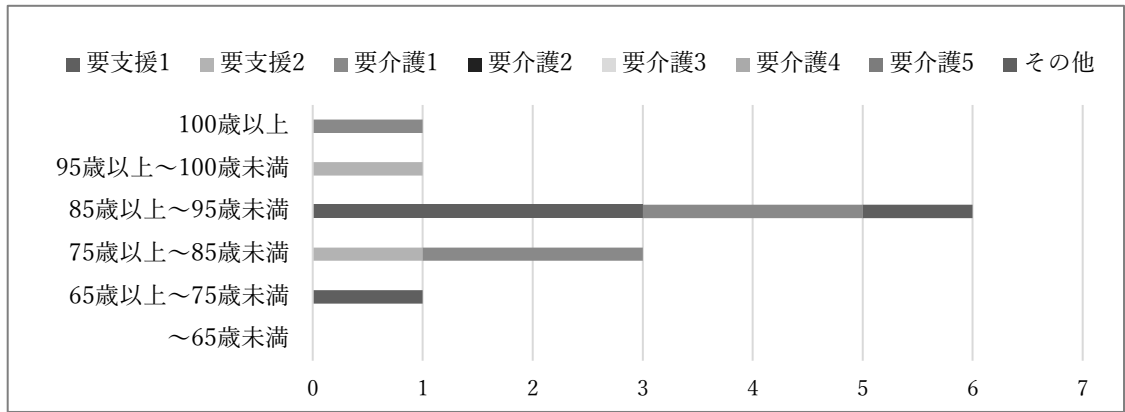
● 年齢



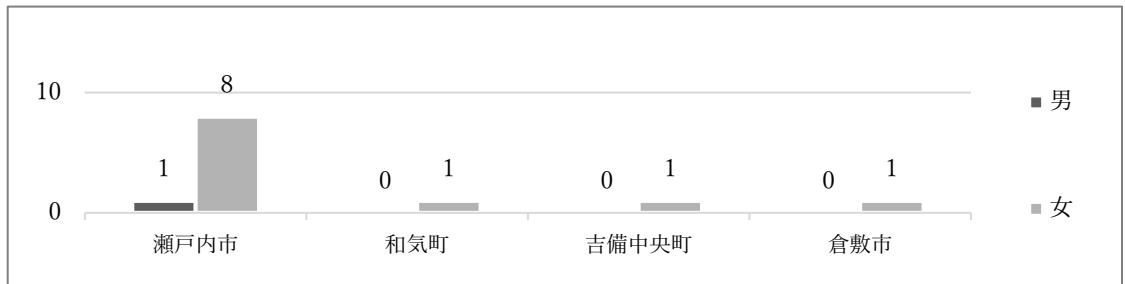
● 入所期間



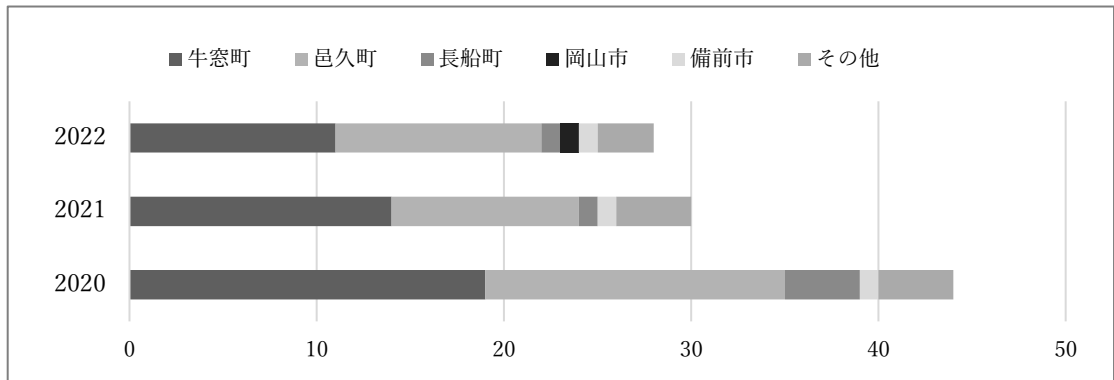
- 年齢別 要介護状態区分別 利用者数



- 入居者保険者内訳



- 地区別 待機者数（年度末時点）

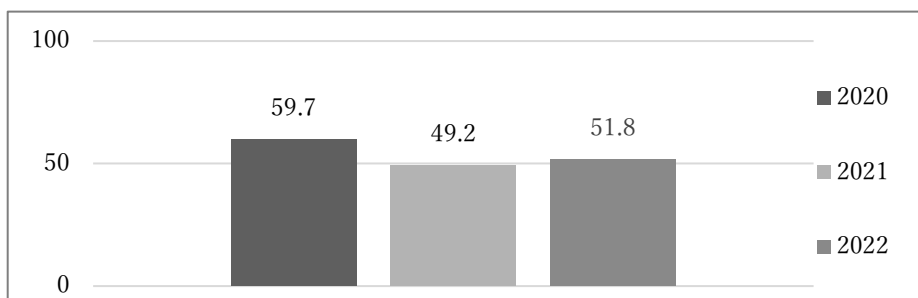


③ デイサービスセンターあじさい（通所介護・介護予防・日常生活支援総合事業）

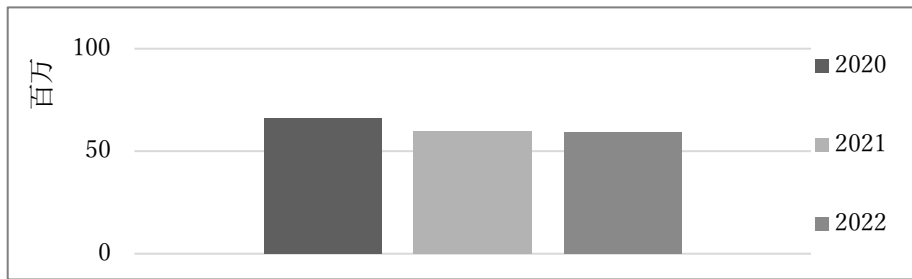
定員枠を増やしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者の利用率は伸び悩んだ一年となりました。IoT 化は、介護職員等の事務作業の負担軽減や超過勤務の削減にも繋がり、働きやすい職場づくりには取り組めたと考えております。

全体として、新規利用者は、邑久町、長船町が大幅に増加しましたが、利用者の入院や施設入所による中止などから利用者が減少し、中でも男性利用者の減少が顕著となり、重度者の微増傾向がみられた年度となりました。

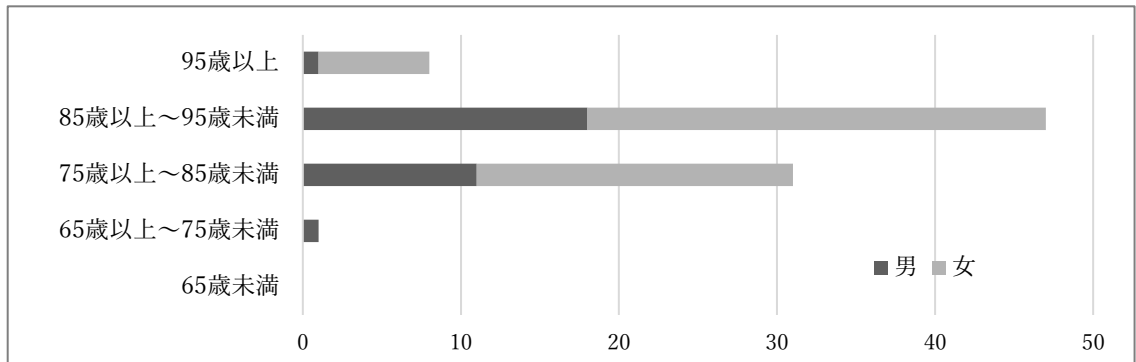
- 稼働率



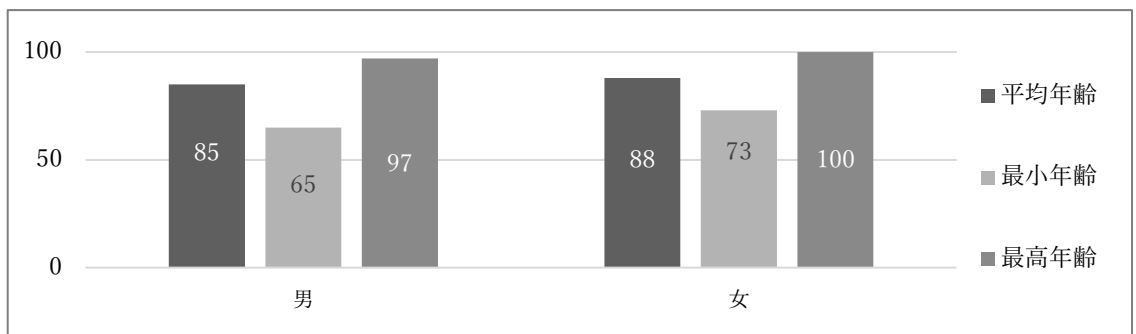
● 収入



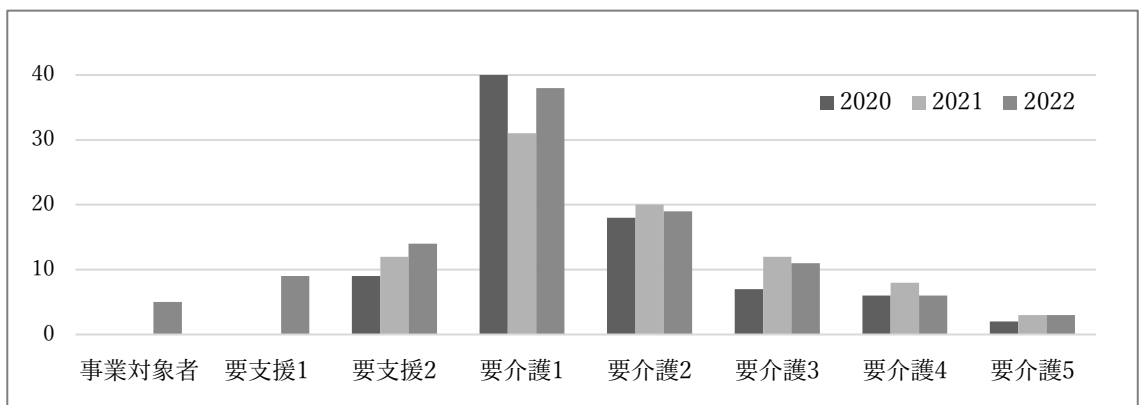
● 年齢別 利用者数



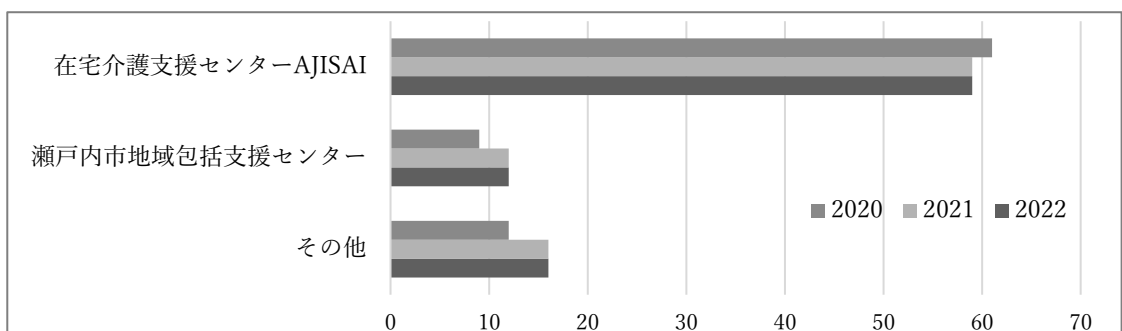
● 年齢



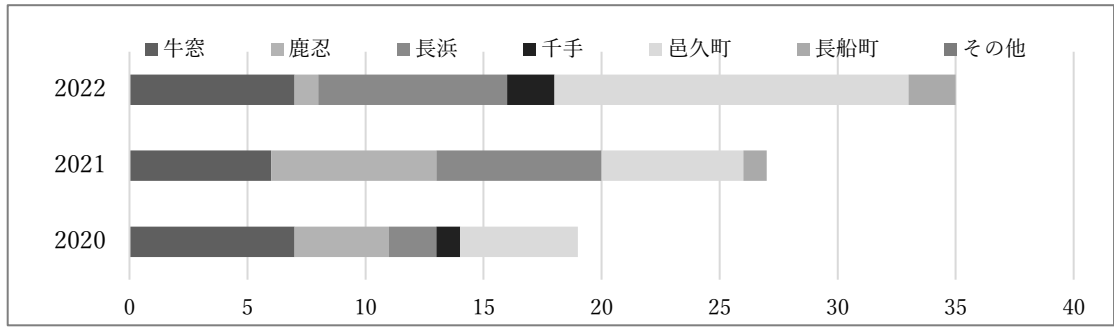
● 要介護状態区分別 利用者数



● 居宅介護支援事業所別 利用者数



- 地区別 新規利用者数

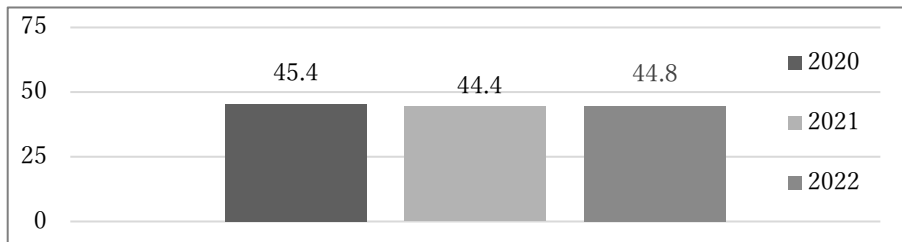


- ④ デイホームあじさい (認知症対応型通所介護)

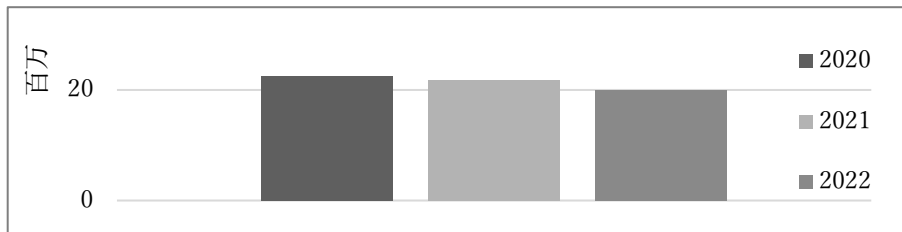
年度末には新規利用者も増加傾向に伴い、昨年度比では倍増にもなりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の利用率は伸び悩んだ一年となりました。IoT 化は、介護職員等の事務作業の負担軽減や超過勤務の削減にも繋がり、働きやすい職場づくりには取り組んでいると考えております。

課題は、入所施設が多いことにより家庭での介護期間が短いため、新規利用者の継続確保が課題となっております。今後、認知症高齢者の増加に伴い、ニーズは高くなり、サービス内容の充実も重要となっております。

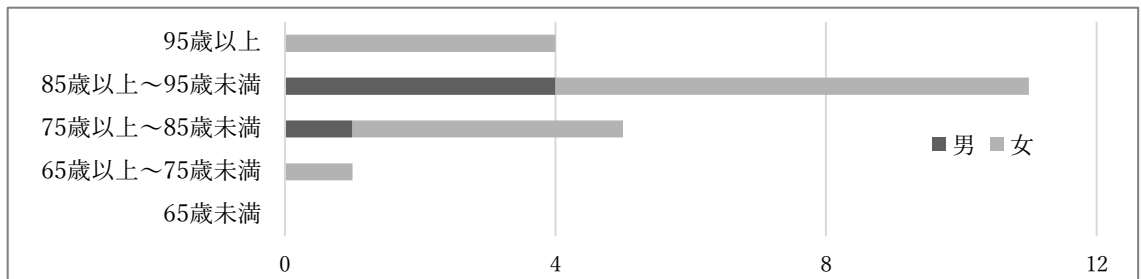
- 稼働率



- 収入



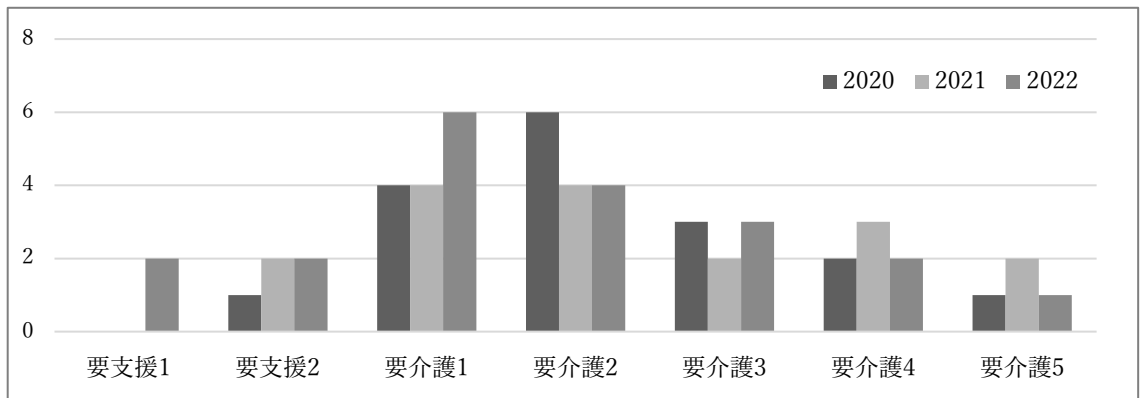
- 年齢別 利用者数



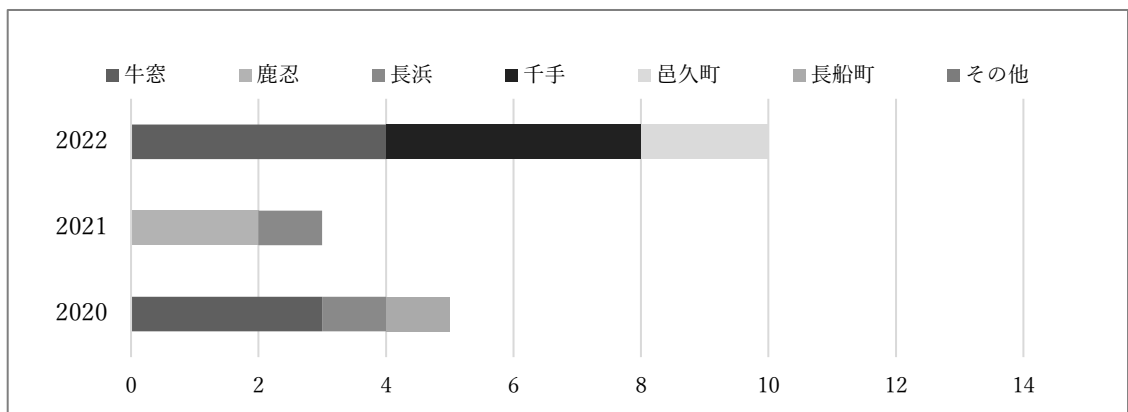
- 年齢



- 要介護状態区分別 利用者数



- 地区別 新規利用者数

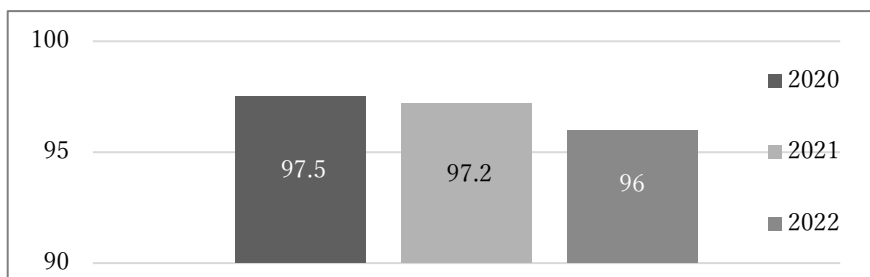


⑤ グループホームあじさい

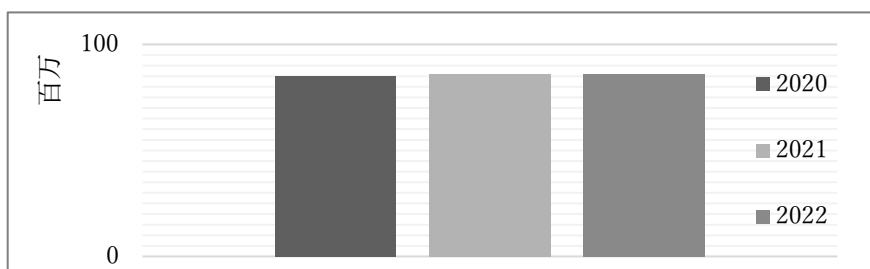
介護保険制度改正に伴い自己評価制度を導入し、サービスの自己点検を行うこととなりましたが、PDCA サイクルの運用においては、より充実させることが重要となっております。新型コロナウイルス感染症の影響による面会制限などから、家族への定期的な情報提供などにも努めてまいりました。

介護職員の負担軽減のための IoT 化による業務プロセスの効率化、待機者の確保が課題となっております。

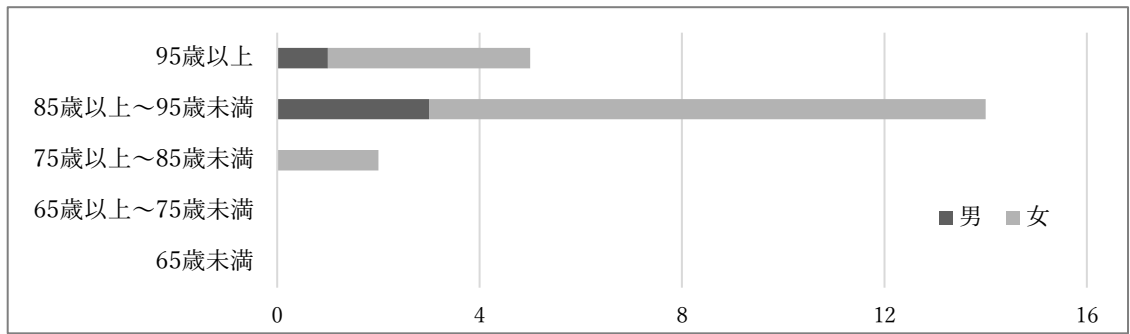
- 稼働率



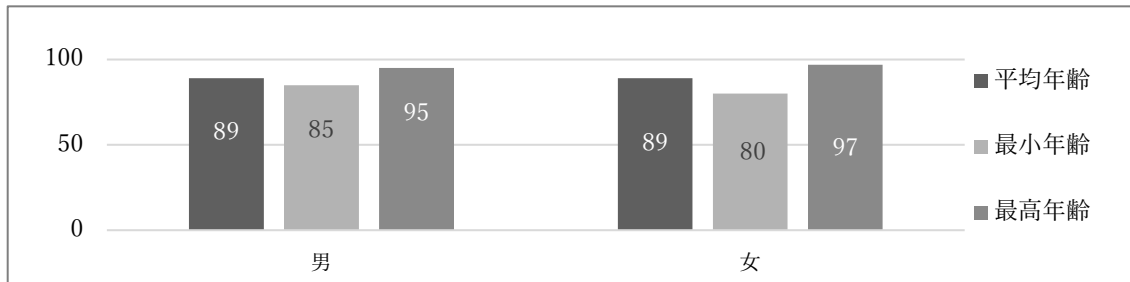
- 収入



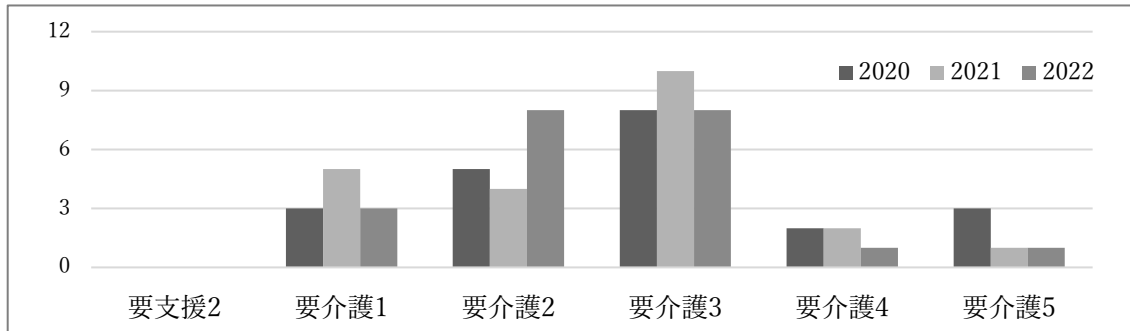
● 年齢別 利用者数



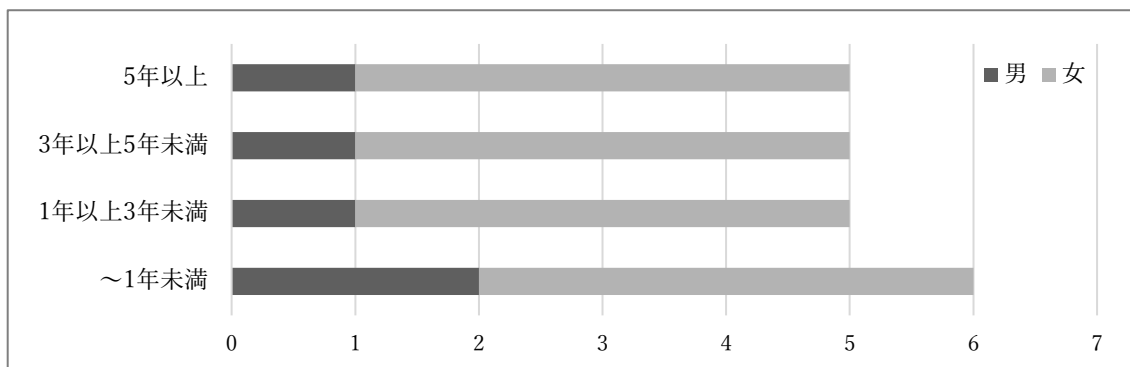
● 年齢



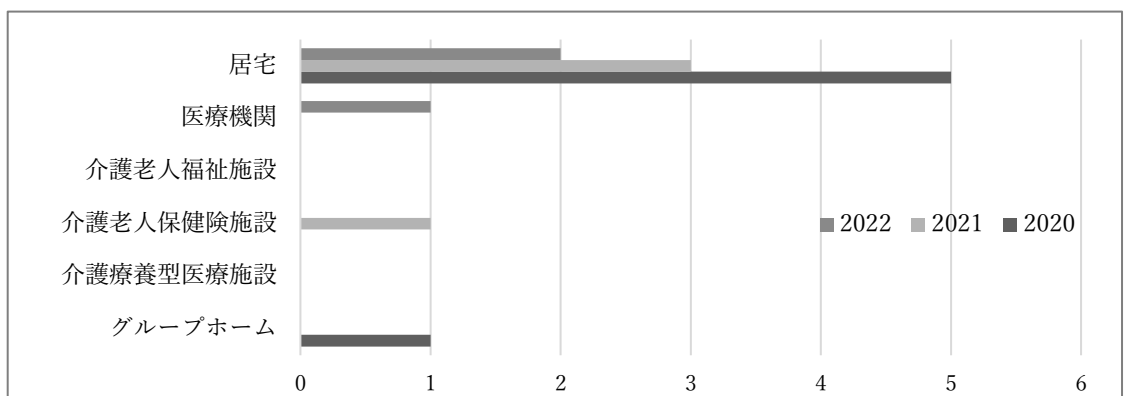
● 要介護状態区分別 利用者数



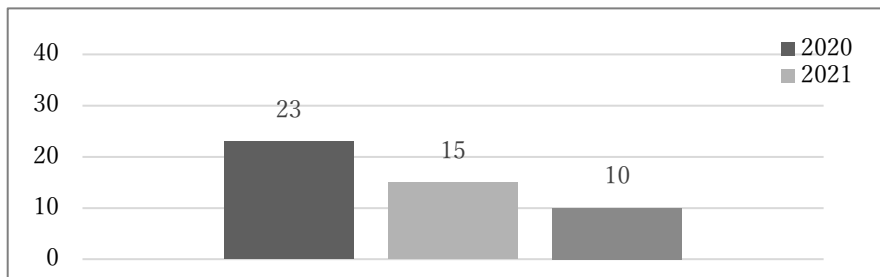
● 入所期間



● 新規入所前状況



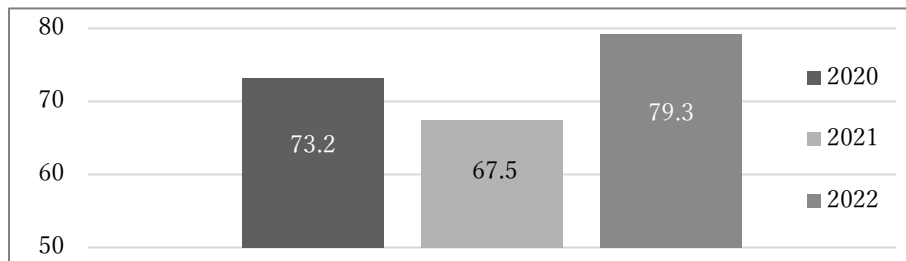
- 待機者数（年度末時点）



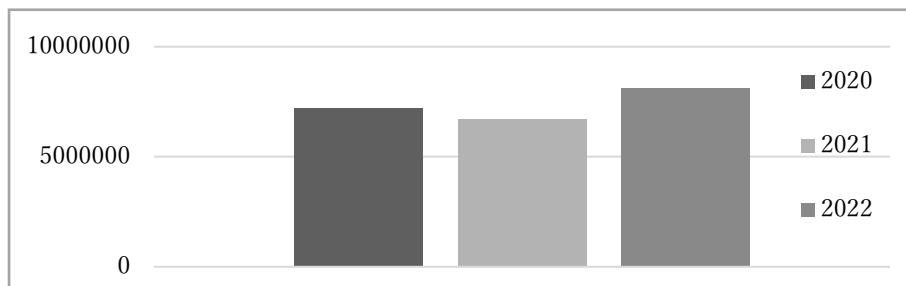
- ⑥ ヘルパーステーションあじさい（訪問介護・介護予防・日常生活支援総合事業）

在宅利用者の軽度化・地域における入所施設の増加などから利用率の向上が難しい事業所ではありますが、ここ数年で最も職員の確保ができたことに伴い、新規利用者も前年度比で倍増となり、稼働率、収入増に繋がりました。また、利用者の若年化の傾向もみられ、介護度も軽度化の傾向となっております。新型コロナウイルス感染症の影響にて、利用制限もありましたが、事業運営には、大きな影響はありませんでした。

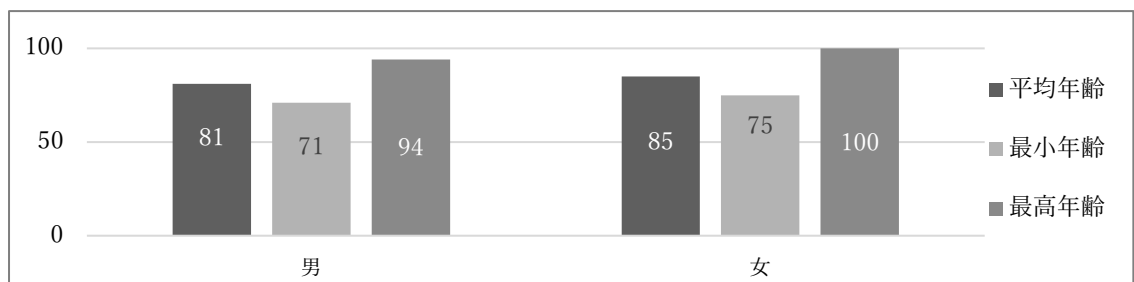
- 稼働率



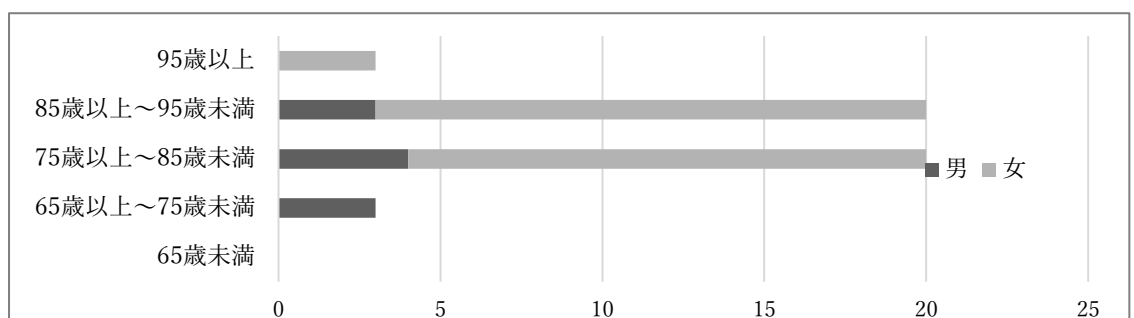
- 収入



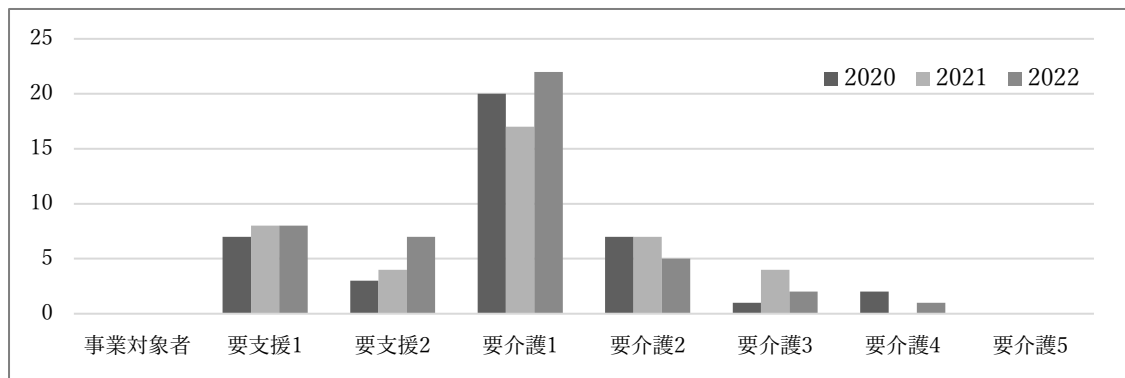
- 年齢



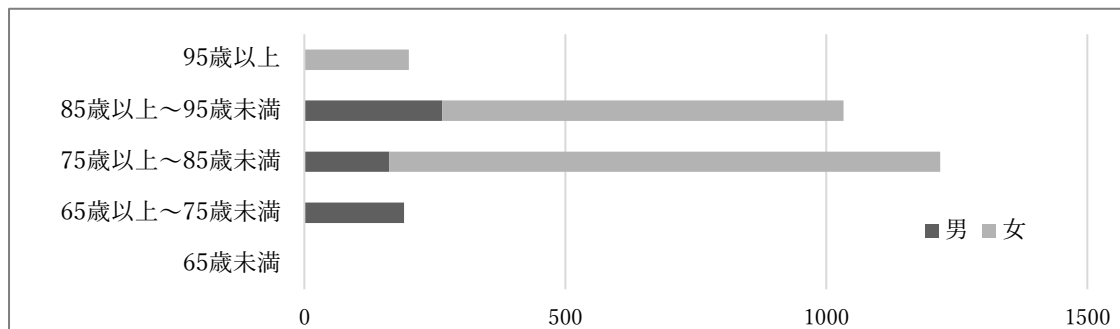
- 年齢別 利用者数



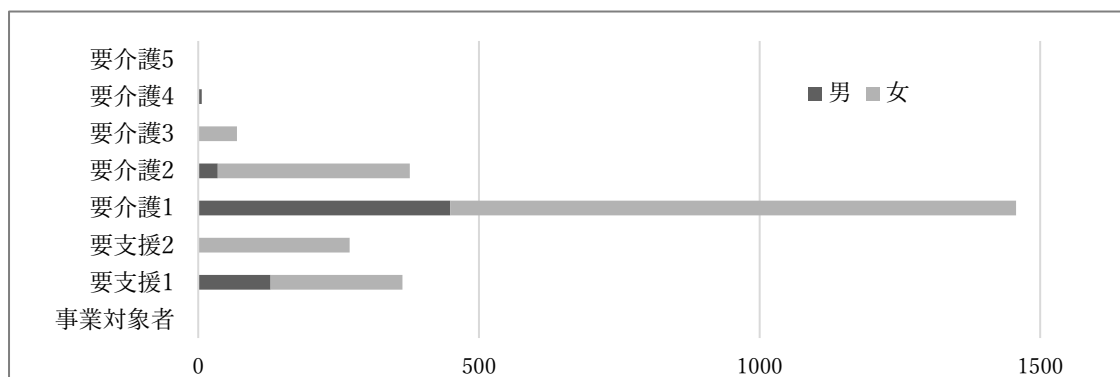
● 要介護状態区分別 利用者数



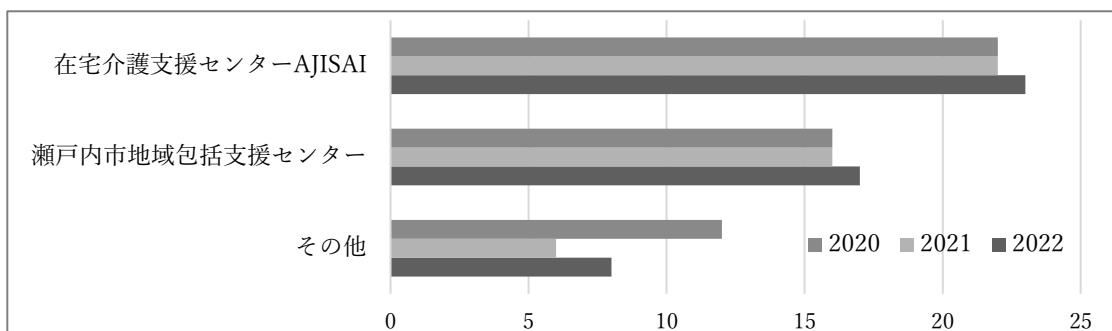
● 年齢別 訪問回数



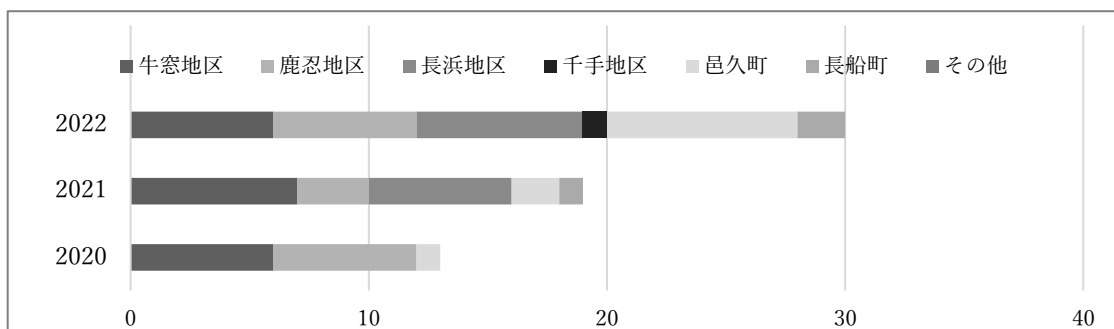
● 要介護状態区分別 訪問回数



● 居宅介護支援事業所別 利用者数



● 地区別 新規利用者数

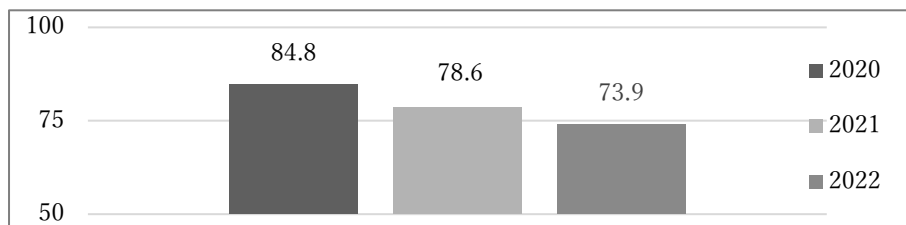


⑦ グレースケアあじさい

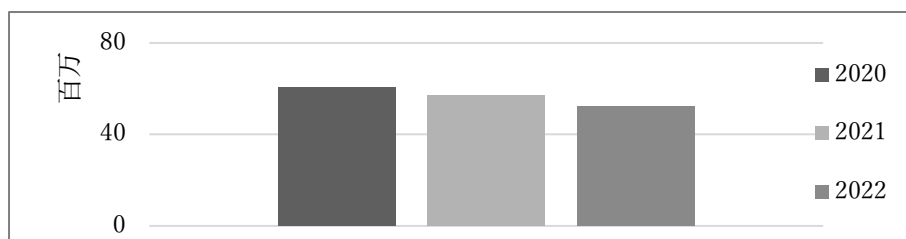
併設のサービス付き高齢者向け住宅の空床が埋まらない状況が続いていたことや市内の小規模多機能型事業所数が多いことによる新規利用者の確保が難しく、稼働率や収入減に至ることとなりました。利用料が月額であることから割高であることも、利用に繋がりにくい要因ともなっております。

牛窓町から其他地区の利用者割合が増加傾向となってきております。

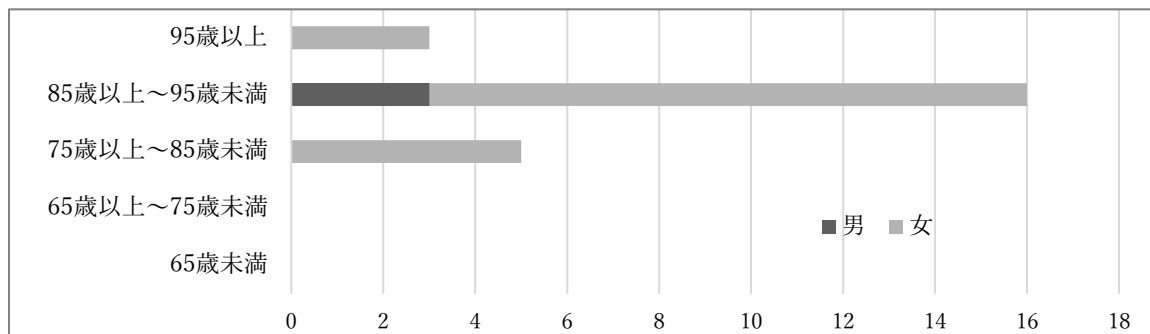
● 稼働率



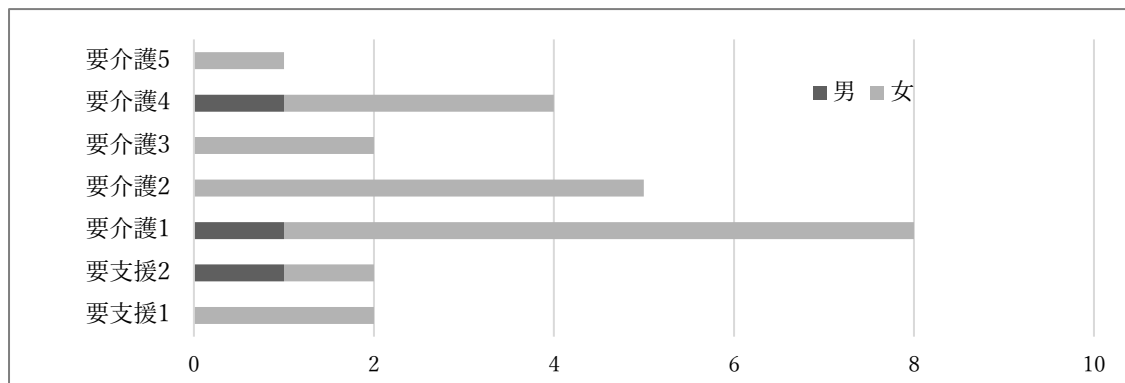
● 収入



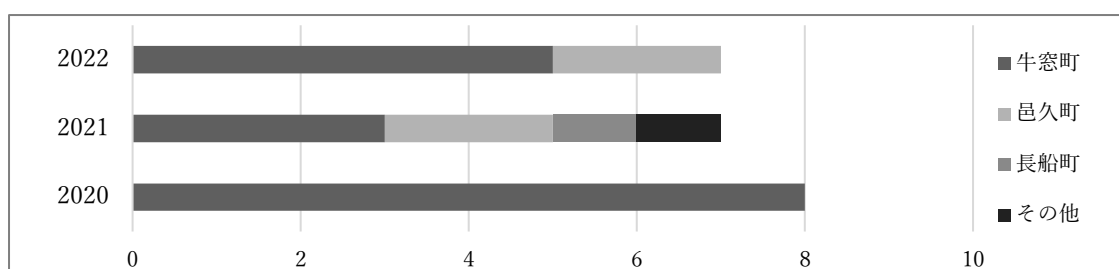
● 年齢（令和5年3月31日時点）



● 要介護状態区分別 利用者数



● 地区別 新規利用者数

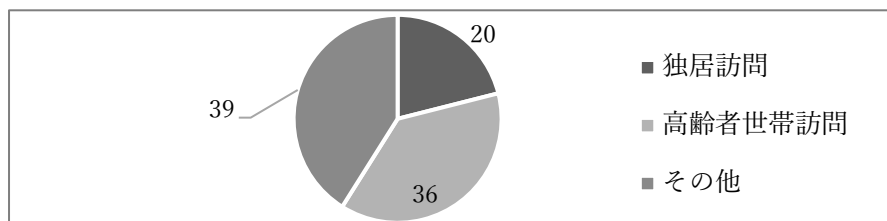


⑧ 在宅介護支援センターAJISAI（地域包括支援センターブランチ）

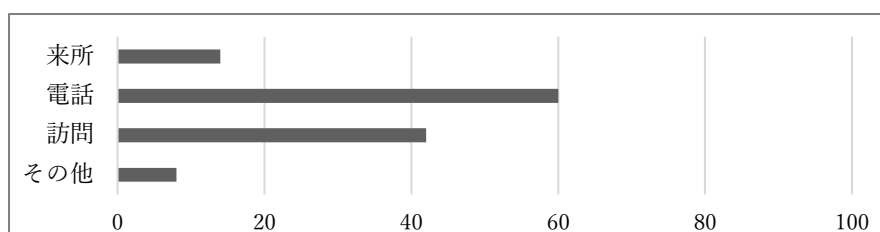
新型コロナウイルス感染症の影響にて、地域活動の多くが中止となり、地域でのサロン活動も同様でありました。地域の民生児童委員をはじめ地域での活動をされている方の活動が、制限されていることも住民ニーズの把握に影響があるものと考えております。

当事業の活動は、法人全体の広報媒体にもなっているため、引き続き地域に出向き、関わりをつくっていくことが重要であると考えております。

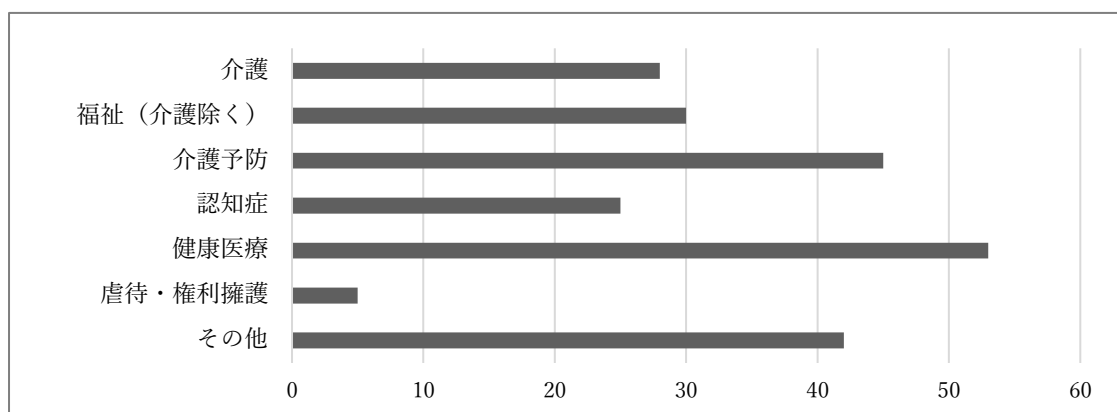
● 実態把握



● 相談形態内訳



● 相談内容内訳



● 展示物無料貸出

品目	件数	貸出理由
車椅子	1	外出

2. 公益事業

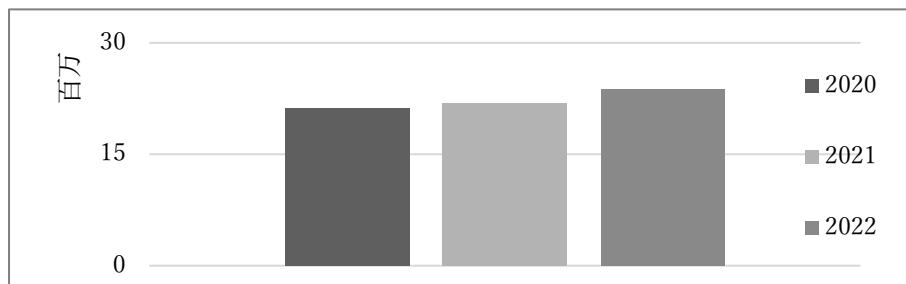
① 在宅介護支援センターAJISAI（あじさい）（居宅介護支援事業所）

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響にて、自宅や医療機関等への訪問活動を中心としている事業所にとって、様々な活動制限がかかった1年となりました。

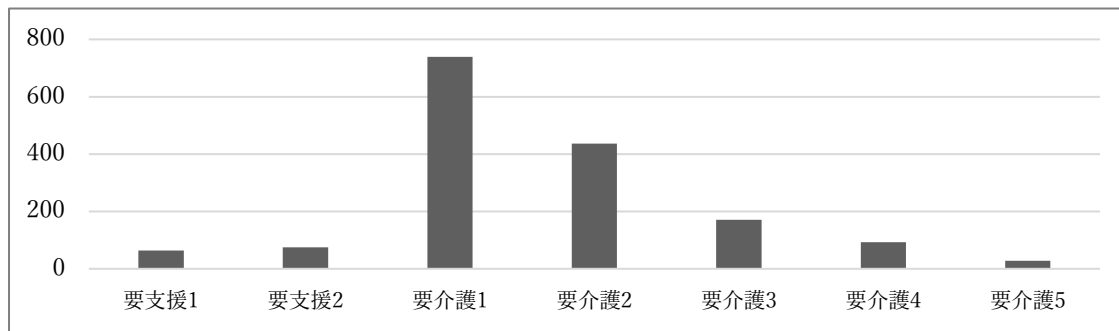
利用者の軽度化、牛窓町外の利用者が増加傾向となっております。また、地域包括支援センターからの予防マネジメントの委託件数も少しずつですが増加傾向となっております。

介護保険法の理念に沿い利用者本位のケアマネジメントに努めていくことが重要となっております。電子カルテを活用し、業務省力化、業務プロセスの効率化を図り、介護支援専門員の事務負担軽減、ガバナンスの強化に努めてまいりました。

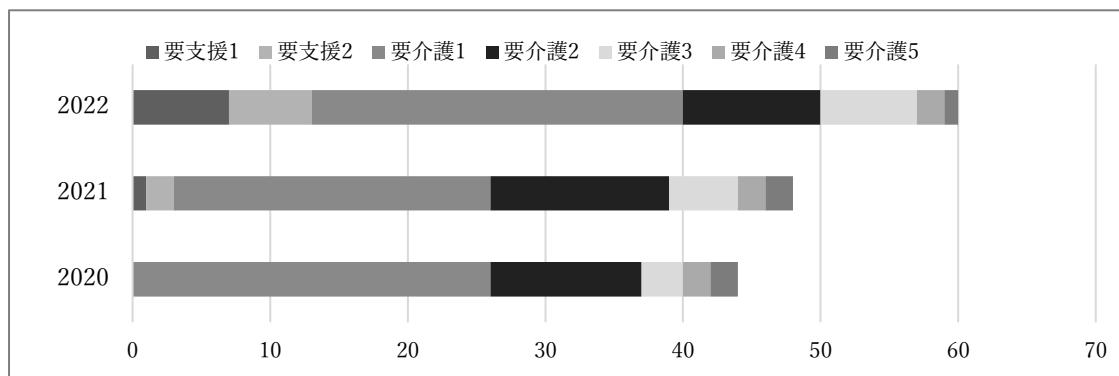
● 収入



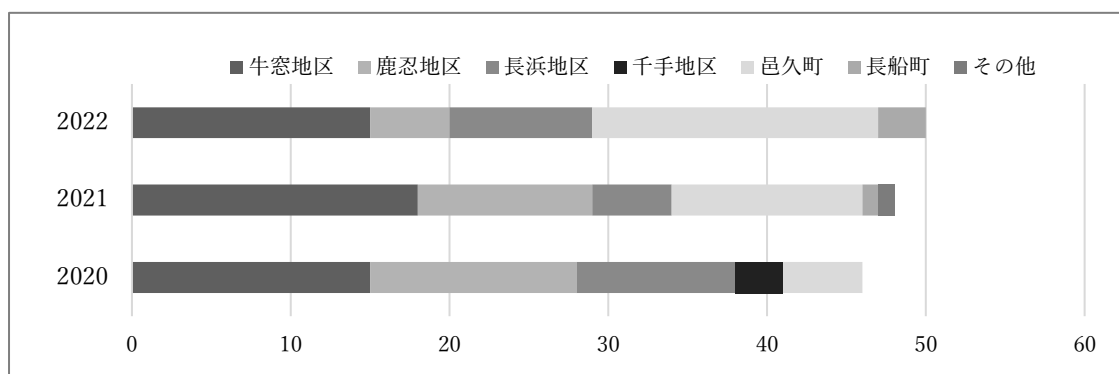
● 要介護状態区分別 延べ利用者数



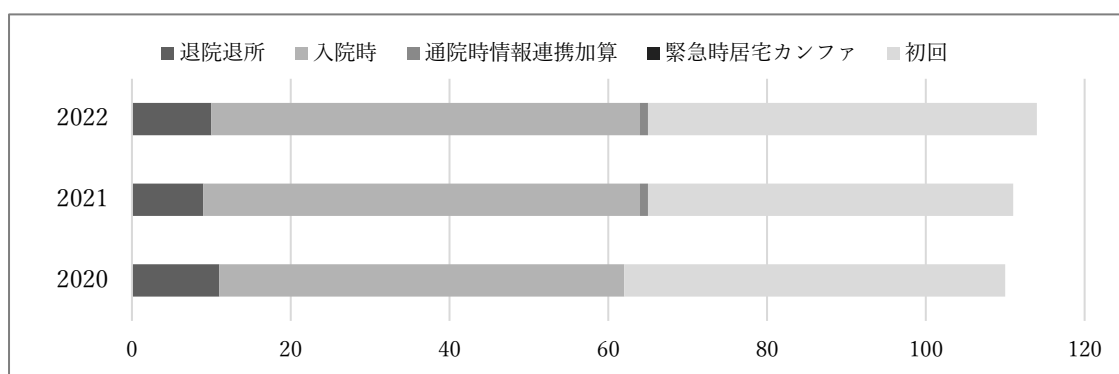
● 要介護認定区分別 新規利用者数（重複あり）



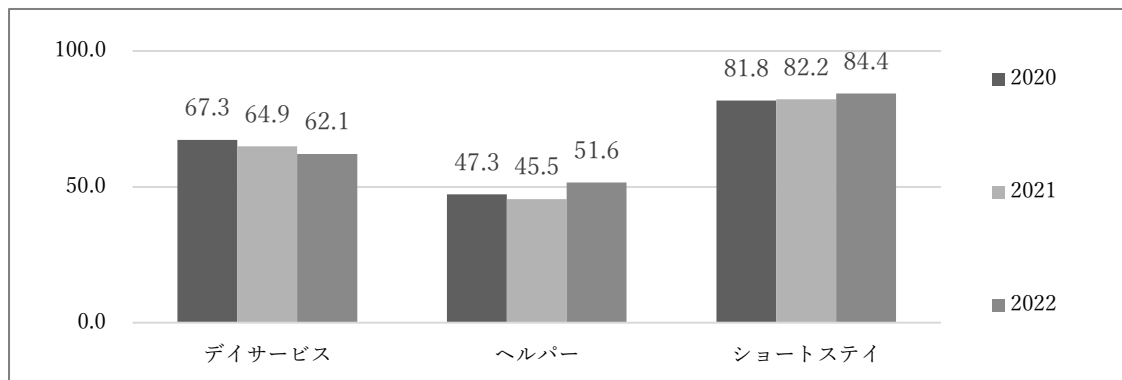
● 地区別 新規利用者数



● 各種加算取得内訳



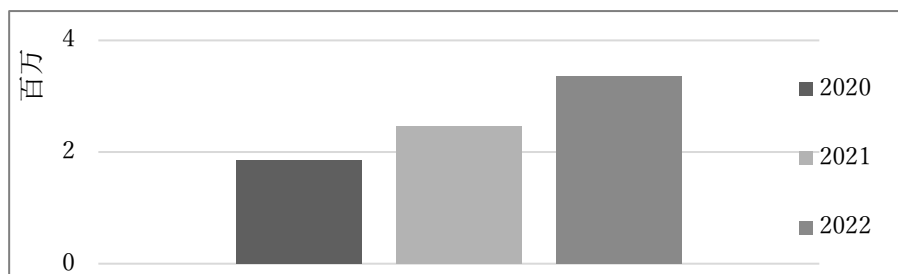
● 法人内事業所 特定事業集中減算適用率



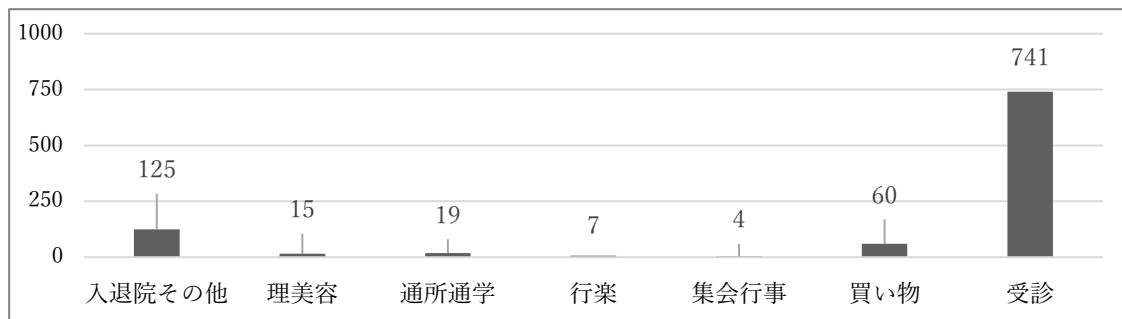
② 福祉移送サービスあじさい（福祉有償運送事業）

昨年度下半期から瀬戸内市によりチケット制の導入や新型コロナウイルス感染症の影響による交通手段の減少などもあり、受診や入退院の搬送の大幅な増加、交通手段の利便性の問題から、利用ニーズは増加しました。同時に運転手の増員にも対応できたことから、大幅な収入増とすることができました。

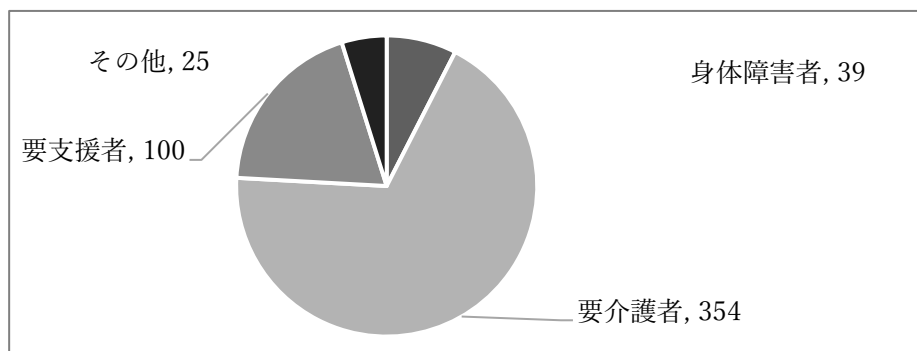
● 収入



● 利用用途



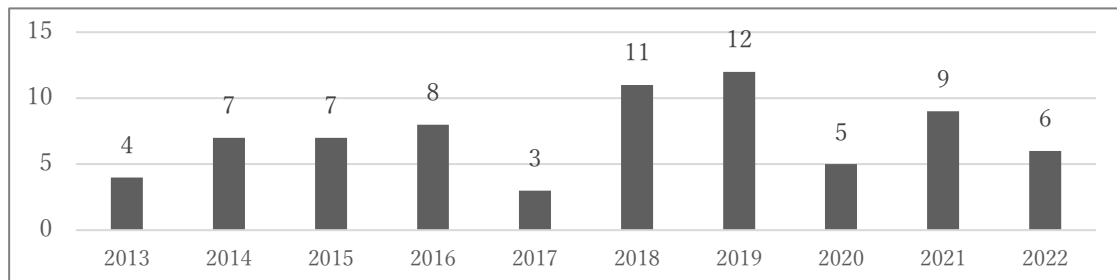
● 区分別 利用者数



③ 介護職員初任者研修事業

平成 25 年より開講し、10 回目の開講となりました。毎年少人数ではありますが、職員の資格取得支援、就職、保育所の利用にも繋がるケースもあり、地域福祉の向上や福利厚生に繋がっているものと考えております。

- 受講生数



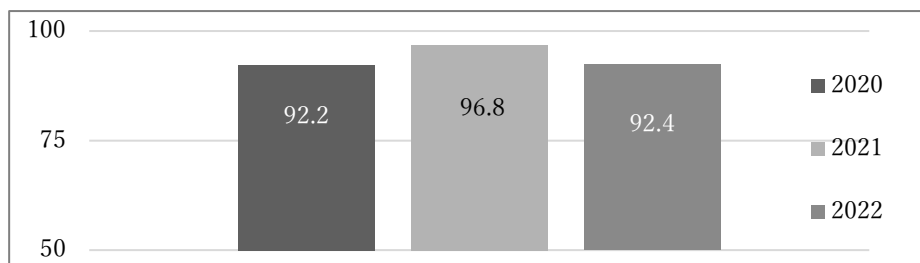
- ④ グレースコートあじさい（サービス付き高齢者向け住宅）

住まいのあり方が多様化する中で、利用者の一時的な住まいとして活用されている現状であります。市内の施設数の増加により、利用者の確保が厳しくなっている状況が続いております。空床を埋めることが年々難しい現状となっております。

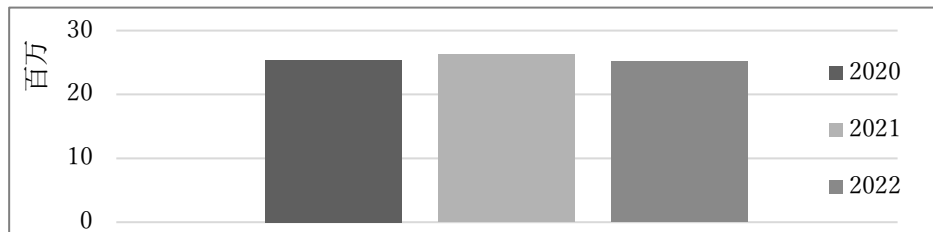
新型コロナウイルス感染症の影響にて、外出や家族の来館・面会などにも制限がかかり、利用者及び家族にも支障をきたしておりましたが、定期的な情報提供にも努めてまいりました。

新規利用者の軽度化がすすんだ年度となりました。

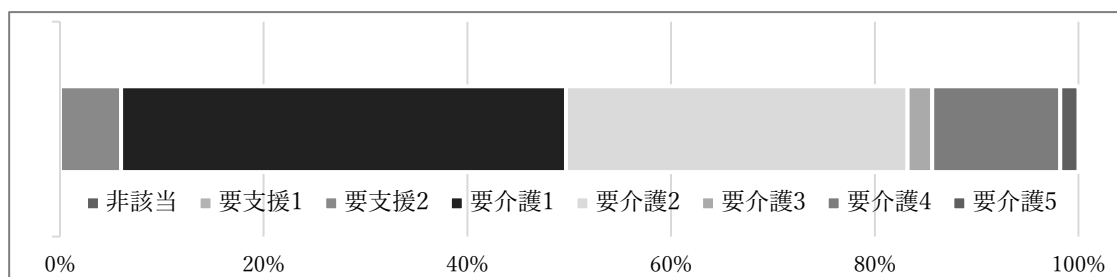
- 稼働率



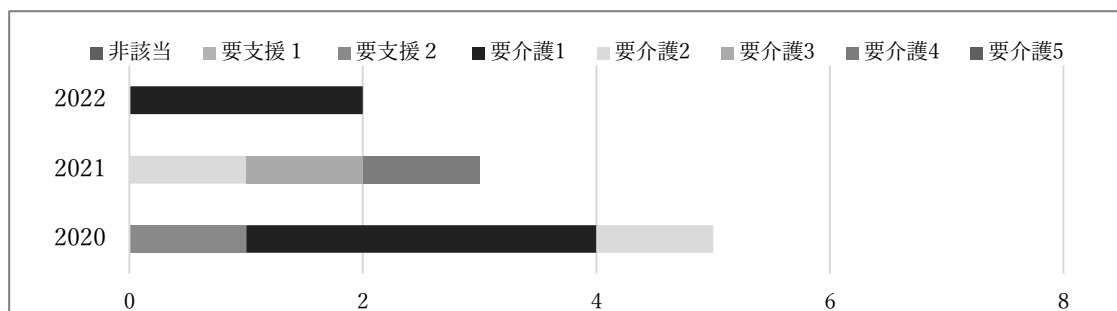
- 収入



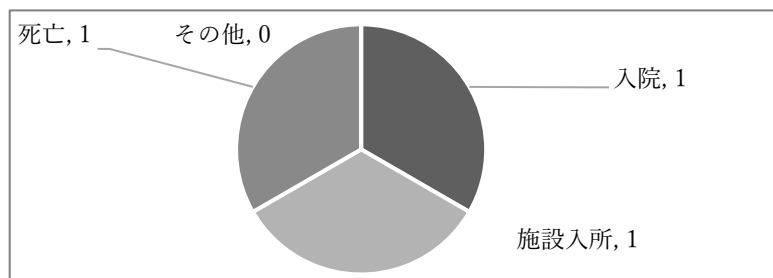
- 要介護認定区分別 利用者延数割合



- 要介護認定区分別 新規利用者数



- 退居理由

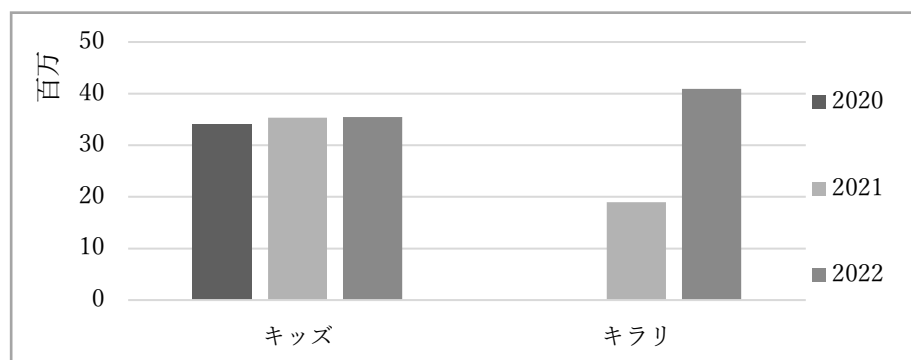


- ⑤ キッズあじさい・キラリあじさい（企業主導型保育事業）

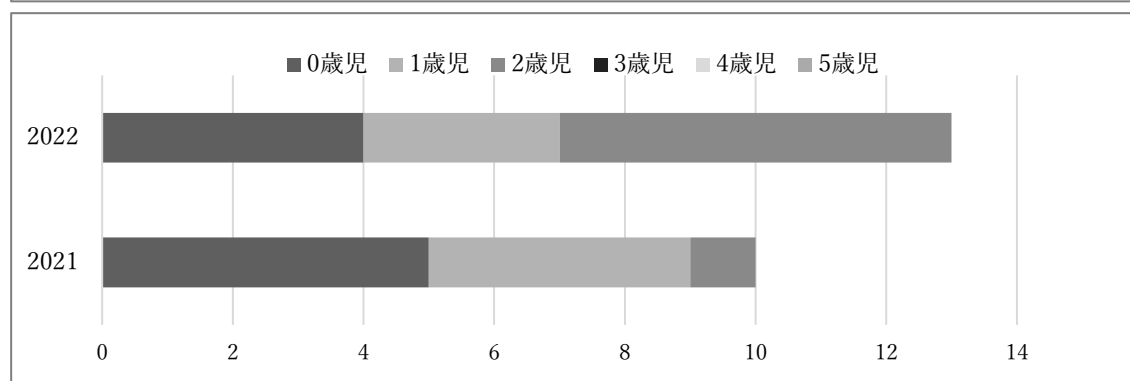
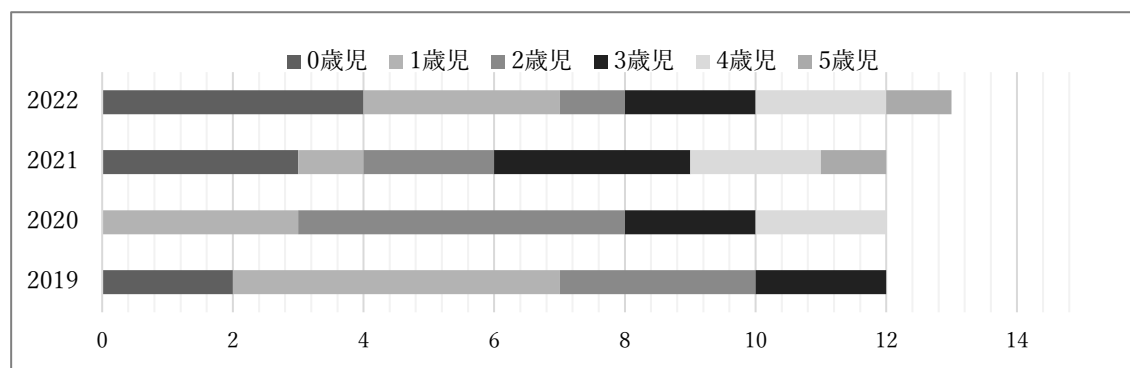
当年度も新型コロナウイルス感染症の影響にて、高齢者との交流に制限がかかることになりました。両園が通年で初めての運営となりましたが、両園ともに最終的には満床で運営することができました。全面電子化による保護者の声は良好であり、一層保護者の満足度を上げていくことが重要であると考えております。

感染対策として、写真のネット販売、ホームページ、ブログ等を活用した保護者への情報提供にも努めてまいりました。特に当年度はコロナによるお休みが多い1年となりました。

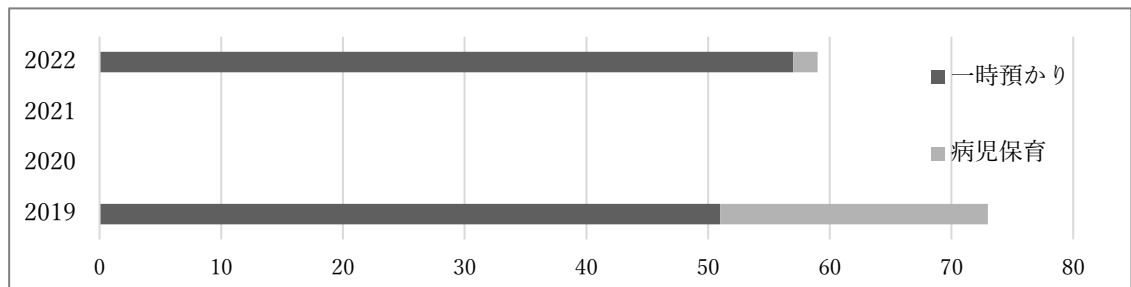
- 収入



- 定期・不定期 延べ児童内訳（上段：キッズ 下段：キラリ）

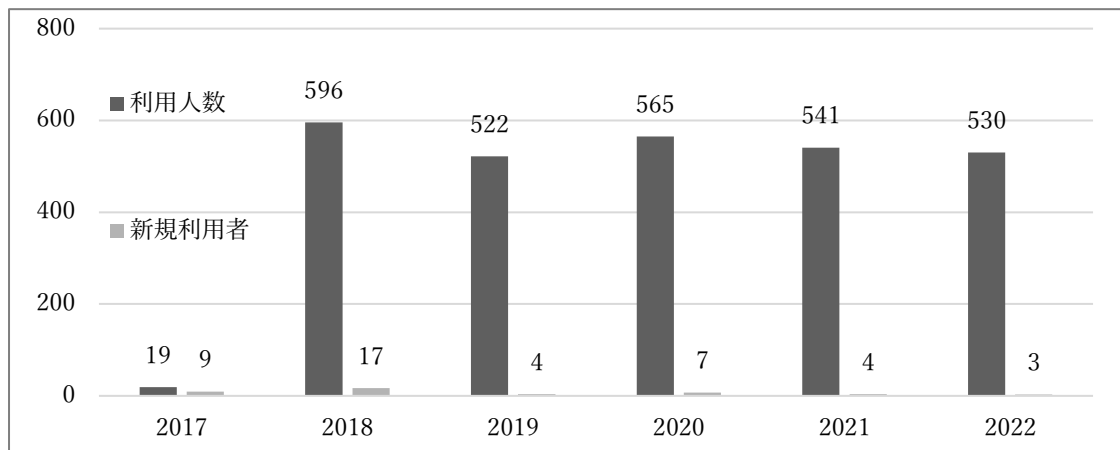


● 一時預かり・病児保育



3. その他法人全体にかかわる事業

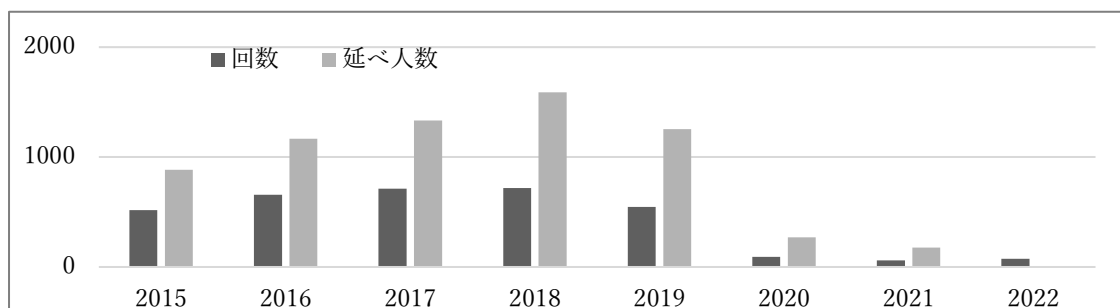
- ① ヘルスケアセンター：介護保険対象者以外の健康増進のためのサービス提供に努めてまいりました。



- ② あじさい納涼夏祭り：コロナの影響で縮小（事業所単位で開催）
 ③ 喫茶うしまど：月2回特別養護老人ホーム3Fラウンジでの喫茶店を開店
 ④ カフェあじさい：グレースケア1Fでの地域住民とのカフェはコロナの影響で中止
 ⑤ サロン活動・施設見学：地域の公民館等にて住民に向けた研修会もコロナで縮小

日時	地区・サロン名	内容	参加者数
R4.7.11	邑久地区中井町サロン	健康講座とレク	12名
R4.11.15	牛窓上区五月会	介護保険	14名
R4.11.16	長船町飯井西谷サロン	健康講座とレク	12名

- ⑥ あじさいホールの活用：コロナの影響で帆頓悟が中止。出張販売など一部実施。
 ⑦ ボランティアの受入：コロナの影響で受入中止等により活動数は減少となった。



⑧ 主な会議

新型コロナウイルス感染症対策として、主な会議はZOOMによるオンライン会議で開催することとなりました。他会議等についても、ZOOMや三密を避けた会議等に対応してまいりました。

名称	頻度	主な内容	参加者
運営会議	週1回	運営及び人事等	理事長・施設長・事務部長・各部長補佐
連絡会議	週1回	週間行事確認 運営会議・他会議内容報告等	各事業所より1名以上
施設部会議 在宅部会議	月1回 月1回	新規利用者報告 身体拘束適正化委員会・ICT委員会 リスクマネジメント委員会（事故苦情） OJT委員会・業務改善・環境整備 広報・腰痛機器・サービスメニュー マニュアル確認・ボランティア他	施設部会議（特養職員） 在宅部会議（特養以外職員）
栄養部会議	月1回	設備管理、食事メモ、業務調整他	施設長・管理栄養士・調理員
相談員会議	月1回	リスクマネジメント委員会 OJT委員会・広報・サービスメニュー マニュアル確認・防災管理 就職セミナー・ボランティア 福利厚生他	施設長・生活相談員
介護職員会議	月1回	事故苦情報告・OJT委員会 サービスメニュー・マニュアル確認 EPA介護福祉士候補生等受入調整他	施設長・介護職員
医療職員会議	月1回	感染対策委員会 安全委員会（喀痰吸引） 衛生管理委員会（労働安全衛生） 給食委員会・口腔ケア・リハビリ OJT委員会他	施設長・看護師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士
※その他事業所別会議、カンファレンス等も定期・随時開催			

⑨ 研修

新型コロナウイルス感染症の影響にて外部研修の多くはオンライン研修となりました。内部研修につきましても、三密を避けるため、法人全体研修等多くのスタッフが集うものはYouTube配信や書面での研修にて対応してまいりました。

■ 外部研修 計 61件 94名参加（昨年比 5件増 20名増）

■ 内部研修

新人研修 採用時施設長より説明（オリエンテーション）

自主研修 年1回 「専門職・組織人として目標と振り返り」

事業所研修（全事業所）

4月	防災教育～非常災害時等	資料作成：相談部
5月	認知症～認知症ケア・BPSDについて	資料作成：介護部
6月	食中毒について	資料作成：介護部
7月	緊急時対応・危険予知訓練等	資料作成：看護部

8月	上半期振り返り	
9月	権利擁護～高齢者虐待と身体拘束	資料作成：相談部
10月	防災教育～非常災害時	資料作成：相談部
11月	結核・感染予防～感染症について	資料作成：看護部
12月	緊急時対応・危険予知訓練等	資料作成：介護部
1月	下半期振り返り	
2月	接遇	資料作成：三石施設長
3月	褥瘡予防	資料作成：看護部

全体研修

4月	法令遵守・事業計画等（YouTube 配信） 講師：三石施設長	全員
6月	普通救命講習 講師：瀬戸内消防署	11名
8月	喀痰吸引研修 手技確認等	夜勤者
10月	認知症研修 講師：樋口直美氏「私の脳で起こったこと」著者 宮本憲男氏（笠岡市認知症介護研修センター長）	47名
11月	普通救命講習 講師：瀬戸内消防署	13名
2月	喀痰吸引研修 手技確認等	夜勤者
随時	新型コロナウイルス感染症に関する資料・作成配布	全員